

平成 29 年

農林水産業気象災害年報

令和 2 年 3 月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	4

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	7
2	畑作物（小麦、大豆）	9
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス）	11
4	花き（りんどう、小ぎく）	13
5	果樹（りんご、ぶどう）	14
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	16
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	17
8	水産物（養殖わかめ、養殖こんぶ、養殖ほたてがい、養殖かき）	17

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	2月17日から18日の強風災害	18
2	4月12日から13日の強風災害	20
3	5月8日の強風災害	21
4	6月16日の降雹災害	22
5	7月13日の大雨災害	23
6	7月17日の大雨災害	25
7	7月22日から23日の大雨災害	27
8	8月24日から25日の大雨災害	30
9	9月11日から12日の大雨災害	33
10	9月17日から18日の台風第18号災害	36
11	10月22日から23日の台風第21号災害	40
12	10月30日の強風災害	44
13	11月11日の強風災害	45
14	12月25日から26日の強風災害	46

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1	7月22日から23日の大雨災害	48
2	9月17日から18日の台風第18号災害	48
3	10月22日から23日の台風第21号災害	49

V 参考資料

1	農林水産部災害対策実施マニュアル	50
2	農作物等気象災害防止対策本部設置要綱	67
3	農業共済事業の種類と仕組み	71
4	漁業共済事業の種類と仕組み	73
5	森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要	76
6	森林保険の制度と仕組み	77
7	農作物災害対策要綱	78
8	農作物災害復旧対策事業の実施状況	79
9	平成元年以降における農林水産業気象災害	82

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・ 1月、3月：少雪・少雨
- ・ 2月、4月、5月、7月：高温
- ・ 8月：低温、寡照
- ・ 10月：多雨、寡照
- ・ 11月：少雨
- ・ 12月：低温

1月、3月は、低気圧や冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日が多かったが、月降水量は少なく経過した。

2月は、全般に高温で経過し、特に、中旬の平均気温は平年と比較してかなり高かった。

4月から5月にかけては、平均気温は高めに推移し、特に、5月の月平均気温は平年と比較してかなり高かった。

6月は、上旬は曇りや雨の日が多かったが、中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間が多かった。

7月は、全般に高温で経過した。寒気や低気圧、梅雨前線の影響により大雨となった日があった。

8月は、オホーツク海や千島近海の高気圧から湿った東寄りの風の影響により、全体的に低温・寡照で経過した。また、気圧の谷や寒冷前線等の影響により大雨となった日があった。

9月は、晴れた日が多く、日照時間が多かったが、前線を伴う低気圧や台風の影響により大雨となった日があった。また、17～18日は台風第18号の影響で沿岸を中心に大雨となった。

10月は、雨の日が多く、降水量が多かった。特に、22～23日は台風第21号の影響で暴風・大雨となった。

11月下旬から12月にかけては、平均気温が低めに推移した。

2 旬別の気象概況 ※岩手県の天候のまとめ（盛岡地方気象台作成）より抜粋

〈1月〉：降雪量が少ない

上旬：後半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。

中旬：後半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪の日が多かった

下旬：後半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び冬型の気圧配置の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。

〈2月〉：月平均気温が高い

上旬：低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雪の日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響で内陸を中心に曇りや雪または雨の日が多かった。

下旬：低気圧や前線及び冬型の気圧配置の影響で曇りや雪または雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

〈3月〉：降水量が少ない

- 上旬：前半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。
- 中旬：低気圧や冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- 下旬：冬型の気圧配置や気圧の谷等の影響により、曇りや雨または雪の日が多かった。

〈4月〉：沿岸の平均気温が高い

- 上旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線等の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。
- 中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や西高東低の気圧配置等の影響で内陸を中心に曇りや雨または雪の日が多かった。
- 下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

〈5月〉：高温、日照時間が多い

- 上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- 中旬：前半は低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- 下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷等の影響で曇りや雨の日が多かった。

〈6月〉：日照時間が多い

- 上旬：低気圧や前線等の影響で曇りや雨の日が多かった。
- 中旬：低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- 下旬：低気圧の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

〈7月〉：高温、日照時間が多い、17日及び22日から23日の大雨

- 上旬：前半は梅雨前線の影響で曇りや雨となり、後半は高気圧に覆われて晴れた日が続いた。
- 中旬：梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
17日は、寒気の影響で沿岸北部を中心に大雨となった。
- 下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、梅雨前線や気圧の谷等の影響で曇りや雨の日が多かった。
22日から23日は、梅雨前線や低気圧の影響で内陸を中心に大雨となった。

〈8月〉：低温、寡照、22日～23日及び24日～25日の大雨

- 上旬：前半は晴れた日もあったが、台風第5号や湿った東よりの風の影響で沿岸を中心に曇りや雨の日が多かった。
- 中旬：低気圧や気圧の谷及びオホーツク海や千島近海の高気圧からの湿った東よりの風の影響で曇りや雨の日が続いた。
- 下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。22日から23日は、気圧の谷や暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で内陸を中心に大雨となった。
また、24日から25日は、寒冷前線や暖かく湿った空気が流れ込んだ内陸や沿岸北部を中心に大雨となった。

〈9月〉：日照時間が多い、12日及び17日～18日の大雨

- 上旬：前線や気圧の谷及び低気圧の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- 中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風や低気圧等の影響で曇りや雨の日もあった。12日

は前線を伴う低気圧の影響で内陸や沿岸南部で大雨となった。また、17日から18日は、台風第18号の影響で沿岸を中心に大雨となるなど、県内は大荒れとなった。

下旬：低気圧や前線及び気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

<10月>：降水量が多い、寡照、台風第21号

上旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷等の影響で曇りや雨の日が多かった。

下旬：中頃は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧及び台風等の影響で曇りや雨の日が多かった。

<11月>：降水量が少ない

上旬：気圧の谷や寒冷前線の影響で曇りの日があったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び冬型の気圧配置等の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。

<12月>：月平均気温が低い

上旬：冬型の気圧配置や低気圧の影響で、内陸は曇りや雨または雪の日が多く、沿岸は曇りや雨または雪の日もあったが、晴れた日が多かった。

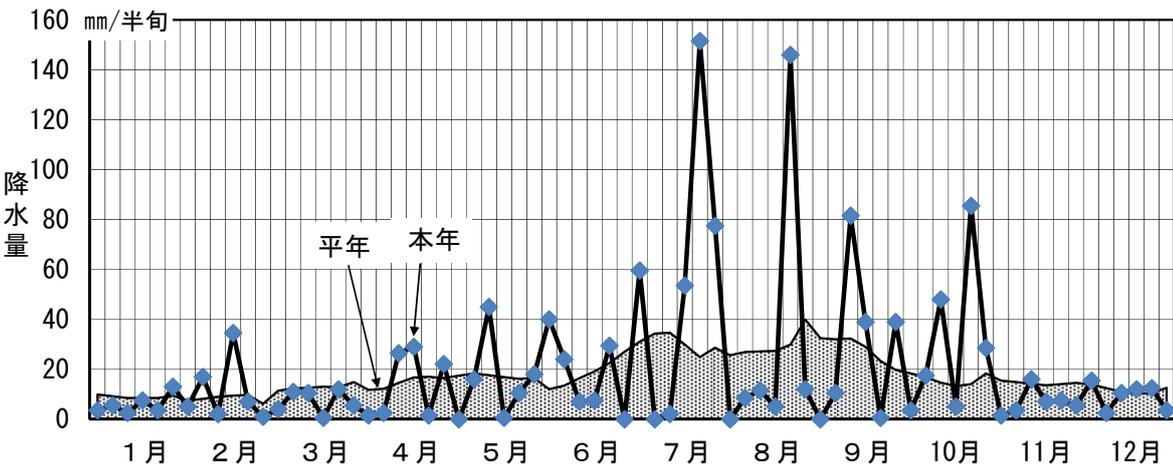
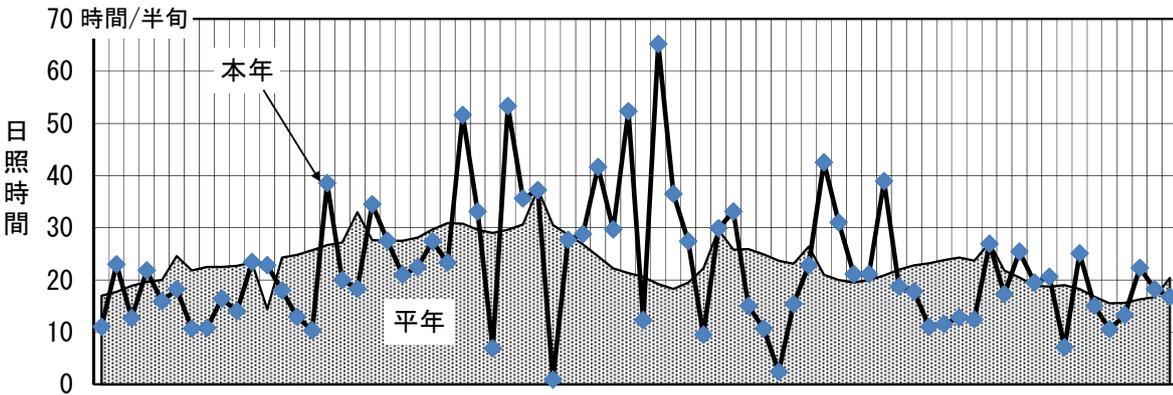
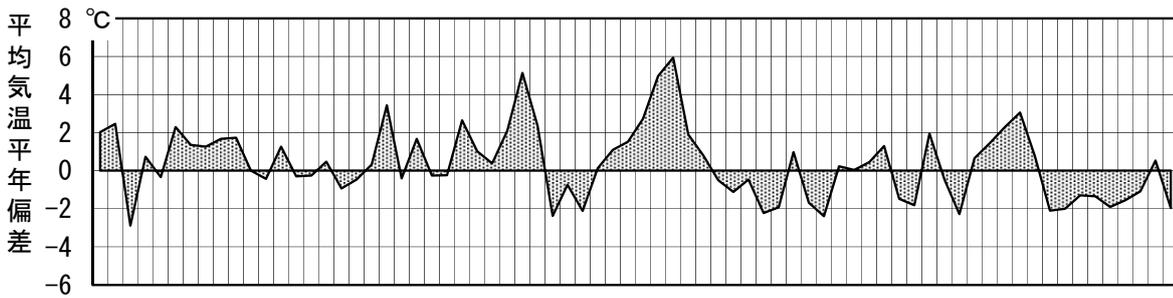
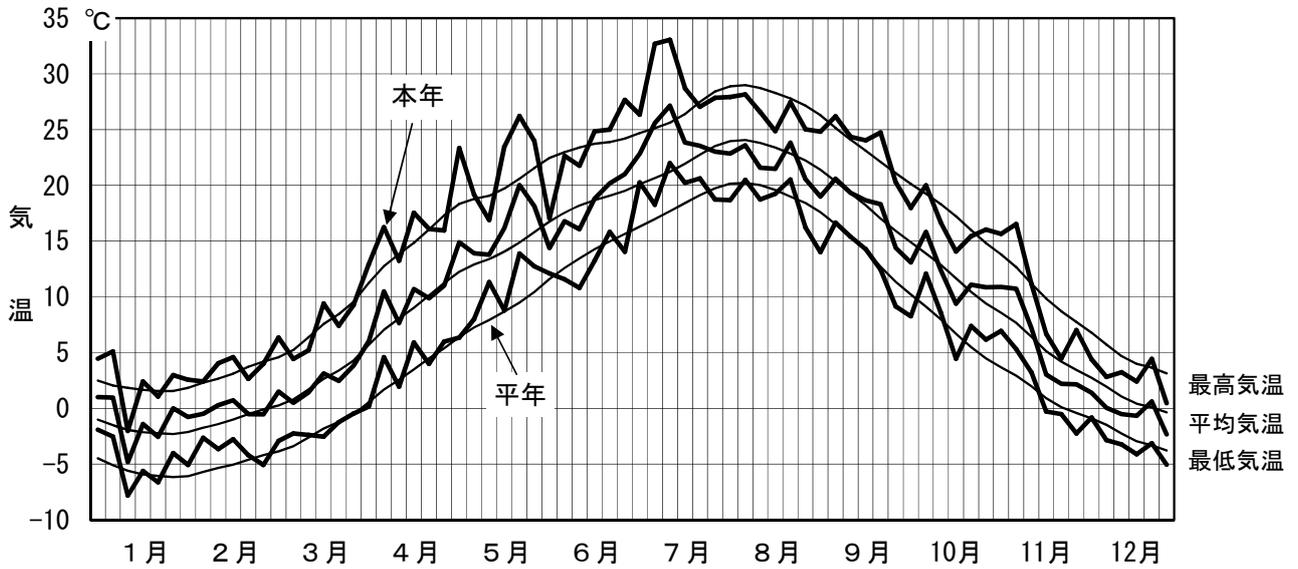
中旬：冬型の気圧配置や低気圧等の影響で、内陸は曇りや雪または雨の日が多く、沿岸は曇りや雪または雨の日もあったが、晴れた日が多かった。

下旬：冬型の気圧配置や低気圧等の影響で、内陸は曇りや雪または雨の日が多く、沿岸は曇りや雪または雨の日もあったが、晴れた日が多かった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2017年の気象経過[旬別：盛岡地方気象台]



(2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛岡	4月24日	5月3日	4月25日

(3) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年 (平年差)	昨 年 (昨年差)
梅雨入り	7月1日頃	6月14日頃 (18日遅い)	6月13日頃 (19日遅い)
梅雨明け	特定しない	7月28日頃 (-)	7月29日頃 (-)

(4) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

ア 月平均気温

気象官署	月	記録 (°C)	備 考
盛岡	5	16.2	高い方から2位
大船渡	5	15.7	高い方から2位
盛岡	7	24.3	高い方から4位
大船渡	7	23.6	高い方から3位

イ 日最高気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	12月27日	-1.6	低い方から4位

ウ 日最低気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	9月29日	7.1	低い方から3位

エ 月間日照時間

気象官署	月	記録 (時間)	備 考
盛岡	3	127.0	少ない方から3位
宮古	8	74.4	少ない方から3位
大船渡	8	57.5	少ない方から1位
盛岡	9	173.3	多い方から3位
宮古	9	188.1	多い方から3位
大船渡	9	171.5	多い方から3位
盛岡	10	92.4	少ない方から3位
宮古	10	105.0	少ない方から5位
大船渡	10	97.1	少ない方から2位

オ 月降水量

気象官署	月	記録 (mm)	備考
大船渡	3	35.0	少ない方から5位
盛岡	7	344.0	多い方から4位
宮古	11	2.5	少ない方から1位

カ 日降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備考
盛岡	7月23日	127.0	多い方から2位

キ 日最大1時間降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備考
大船渡	9月18日	49.5	多い方から3位

ク 降雪の深さの月合計 (降雪量)

気象官署	月	記録 (cm)	備考
宮古	11	1	多い方から4位

ケ 降雪の深さの日合計 (降雪量)

気象官署	月 日	記録 (cm)	備考
宮古	11月21日	1	多い方から5位

II 農林水産物の生育状況

1 水稻（作況指数は「98」、うるち米1等米比率は93.0%）

稲の移植後、5月下旬は良好な気象条件で経過し、活着は良好であった。6月に入ると低温になり、初期の分けつ発生が遅れた。6月の水稻の生育は平年よりも4～5日遅れ、草丈が平年よりやや短く、莖数・葉数も平年より少なかった。7月に入ると気温は平年を大きく上回り、水稻の生育は大きく進み、7月10日一斉生育調査では、草丈・幼数は平年並みに回復し、莖数は平年よりやや多くなった。

平成29年の梅雨は速報値と確定値が異なり、梅雨入りの確定値は7月1日頃（平年より18日遅い）、梅雨明けは特定しなかった。

水稻の生育ステージは、幼穂形成期、減数分裂期、出穂盛期（50%終了）までは平年並みであった。しかし、その後、低温寡照で長期間経過したことから、出穂揃期が平年より遅れ、初期登熟も極めて緩慢であった。登熟の進み具合を見る目安として、例年9月1日前後に調査する沈下籾数歩合をみると、県全体で平年より12.1ポイント低く、遅れていることがわかった。また障害型不稔発生は少なく、暫定値であるが10%を下回ることがわかった。

8月は低温寡照で経過したが、9月は気温が平年並みに回復し、日照時間が多かったことから、緩慢であった登熟が進み、平年より遅れたが、成熟期を迎えることができた。

本年の作柄としては、7月に生育が回復したことから穂数は平年をやや上回り、一穂籾数は平年並みであったことから、㎡当たり籾数は平年をやや上回ったこと、登熟歩合は平年を6.6ポイント下回ったが、不稔歩合は平年並みであり、玄米千粒重も平年並であったことなどから、収量は平年をやや下回った（水稻生育診断は平年比98%）。農水省の発表する作況指数は、本県全体では「98」の“やや不良”，10aあたり収量522kg/10a（1.85mmふるい）であった。地域ごとに見ると、北部は「94」の“不良”であり、地域ごとの差がみられた。

7月の降水量をみると、前半は少なかったが、後半は多くなり、葉いもちの発生量は県全体で「少」であった。8月上旬にほとんど降雨がなかったため、穂いもちの発生は少なかったが、8月下旬には降水量が増え、低温で経過したことにより水稻の出穂が長引いたことから、穂いもちの発生時期は遅く、発生量は平年並みとなった。地域別にみると、北上、東磐井地域の穂いもち発生圃場は平年並より多く、一部地域で穂いもち病が減収要因となった。また7月第4半句以降、9月までたびたび大雨に見舞われ、北上川周辺の地域で浸水や冠水などによる被害が発生した。

うるち米の1等米比率は93.0%（平成30年1月31日現在）、全国第7位であり、もち米の1等米比率は88.1%（平成30年1月31日現在）、全国第2位（全国第1位は北海道93.4%）であった。

主な落等理由は、「充実不足」が28.7%（総検査数量に占める割合2.0%）、「形質（その他）」が22.7%（同1.6%）、「整粒不足」が20.6%（同1.4%）であった。また品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」92.7%、「あきたこまち」94.8%、「いわてっこ」90.7%、「銀河のしずく」94.3%、「金色の風」98.2%であった（うるち米，平成30年1月31日現在，東北農政局）。その他、平成26年度から検査対象となった飼料用もみは3,274トン、飼料用玄米は17,332トンとなっている。

1) 播種期・育苗期（播種盛期は平年並の4月16日、苗質は平年並み）

播種作業はおおむね平年並の4月9日に始まり、県全体の播種盛期（50%終了）も平年並（4月16日）であった。

4月の月平均気温は平年より高かったが、第5半句以降は平年並みであった。育苗期の病害発生は全般に少なく、苗の草丈は平年並みであり、充実度（風乾重/草丈）は平年をやや下回った。

2) 移植期～活着期（移植盛期は平年並みの5月17日、活着は概ね良好）

5月は第3半句に低温となったほかはおおむね高く、特に第4半句以降は平年を大きく上回って経過した。第3半句に降水量が多かったが、ほ場の準備作業はほぼ順調に行われた。県全体の移植盛期は5月17日と平年並み、移植終期（90%終了）も5月23日と平年並であり、適期内に田植え作業が終わった。

移植期は気温が高く、良好な気象条件で経過し、活着は概ね良好であった。

3) 分けつ期（生育は平年より4～5日遅れた）

気温は6月第1半旬に平年を大きく下回ったが、その後は平年並～上回って経過した。東北北部が6月21日頃に梅雨入り（平年より8日遅い）した（※）が、6月第4半旬以降は気温・日照時間とも平年を上回って経過した。

各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査では、6月15日は草丈が平年よりやや短く、茎数・葉数も平年より少なかった。6月23日調査でも同様の傾向が続いた。生育は平年より4～5日程度遅れていた。葉色の目安であるSPAD値は平年を下回り、葉色は淡かった。

※文章中の表記は、梅雨入りの速報値。確定値は「7月1日頃」であり、平年より18日遅かった。

4) 本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重 劣る・窒素吸収量 劣る）

低温寡照による生育停滞と土壌の異常還元による吸収抑制のためと見られるが、土壌中アンモニア態窒素は稲体吸収量低下分以上に平年より多く残存していること、7月は高温経過が予想されており、停滞した生育の回復が進むと見込まれるが、ほ場間生育差は引き続き大きいものと予想されること、8月にも高温が予想されており、出穂後の高温障害対策として窒素栄養を維持する必要がある一方、良食味確保のため玄米タンパク質含量を高めないう、籾数に見合った追肥量に調整する必要があることから、本年度の追肥の基本方針は場合分けをする必要があった。

幼穂形成期に葉色が低下した場合に、茎数に合わせて窒素成分で1～1.5kg/10aを施用すること、幼穂形成期に葉色が濃く追肥を見送った場合は、減数分裂期に追肥することとし、茎数や葉色に合わせて窒素成分で1～1.5kg/10aを施用する、という追肥指導を行った。金色の風は減数分裂期追肥が基本であるため、減数分裂期に追肥することとし、茎数や葉色に合わせて窒素成分で1～1.5kg/10aを施用する、という追肥指導を行った。

5) 幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は平年並の8月6日、出穂揃いは平年より2日遅れ）

7月に入ると気温は平年を大きく上回り、水稻の生育は大きく進み、7月10日一斉生育調査では、草丈・葉数は平年並みに回復し、茎数は平年よりやや多くなった。

幼穂形成期は平年並であり、県全体は7月12日（平年差+1日）であった。地帯別に見てもほぼ平年並であった。減数分裂期は平年並であり、県全体は7月24日（平年差-1日）であった。地帯別に見ると、東部、北部でやや早まった。

また7月17日および22～23日には大雨被害が発生し、浸冠水対策などの農作物技術情報（号外）が発行され、北上川周辺の地域で被害が見られた。

8月2日に東北北部が梅雨明け（平年より5日遅い）し（※）、県全体の出穂盛期は8月6日と、平年並みであった。しかし、8月に入ると平年を大きく下回る低温と日照不足になり、水稻の出穂が長期化し、県全体の出穂盛揃期（90%終了）は平年より2日遅れた。地域によっては平年より7日遅れたところもあった。盛岡地方気象台から8月10日に「日照不足と低温に関する岩手県気象情報第1号」が発行され、その後も早期警戒情報などの情報が出された。

※文章中の表記は、梅雨入りの速報値。確定値は「特定しない」であった。

6) 登熟期～成熟期（沈下籾数歩合は平年より12.1ポイント低い）

本年は出穂が平年並であったが、登熟期間は低温寡照で経過し、8月30日に各普及センターで行った一斉調査では、全県平均で沈下籾数歩合が76.7%（平年88.8%）と低かった。

8月第5半旬に相次いで大雨に見舞われ、7月に続き大雨被害が発生し、浸冠水対策などの農作物技術情報（号外）が発行され、北上川周辺の地域で被害が見られた。9月に入ると気温は平年並みであったが、日照時間が多くなり、緩慢であった登熟が進み、平年より遅れたが、成熟期を迎えることができた。水稻生育診断ほにおける成熟期は、平年より8日遅い9月25日であった。

また9月も中旬に大雨に見舞われ、一部地域で被害が発生した。

7) 刈取期（刈取盛期は平年より7日遅い10月10日）

県内水稻の刈取盛期は10月10日と平年より遅かった（平年差+7日）。降雨に加え出穂開花の遅れや登熟のばらつきなどにより、刈取終期はさらに遅れ、平年よりも11日遅くなった。

8) 収量および収量構成要素（作況指数 98）

県全体で見ると、収量は平年をやや下回り（平年比 98%）、屑米重は平年より多かった。穂数は平年をやや上回り、一穂粒数は平年並みであったことから、 m^2 当たり粒数は平年をやや上回った。登熟歩合は平年を 6.6 ポイント下回ったが、不稔歩合は平年並みであり、玄米千粒重も平年並であった。粒厚分布は、2.0mm 以上の粒厚の厚いランクが平年を下回り、2.0mm～1.9mm の粒厚の玄米が平年より多くなり、やや小粒方向にシフトした。

地域別で見ると、北部で傾向が異なり、収量は平年を大きく下回り（平年比 85%）、 m^2 当たり粒数は平年を下回り（平年比 95%）、登熟歩合は平年を 11.9 ポイント下回った。

9) 品質（1等米比率 93.0%と全国第7位。落等原因トップは充実不足）

品質では、うるち米の1等米比率が 93.0%（平成 30 年 1 月 31 日現在）、全国第 7 位であり、もち米の1等米比率は 88.1%（平成 30 年 1 月 31 日現在）、全国第 2 位（全国第 1 位は北海道 93.4%）であった。

2 等以下に格付けされた主な理由は、「充実不足」が 28.7%（総検査数量に占める割合 2.0%）、「形質（その他）」が 22.7%（同 1.6%）、「整粒不足」が 20.6%（同 1.4%）であった。また、品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」92.7%、「あきたこまち」94.8%、「いわてっこ」90.7%、「銀河のしずく」94.3%、「金色の風」98.2%であった。（うるち米，平成 30 年 1 月 31 日現在，東北農政局）

その他、平成 26 年度から検査対象となった飼料用もみは 3,274 トン、飼料用玄米は 17,332 トンとなっている。なお、検査結果はまだ公表されていない。

10) 病害虫の発生（葉いもち 少・穂いもち 並、紋枯病 多、斑点米カメムシ類 並（斑点米 やや少））

7月の降水量をみると、前半は少なかったが、後半は多くなり、県北部を除く全域で感染好適条件が現れた。生育が遅延したほ場では葉色が濃く葉いもちの罹りやすい期間が長かったが、葉いもちの発生量は県全体で「少」であった。

8月上旬にほとんど降雨がなかったため、穂いもちの発生は県全体では少なかったが、8月下旬には降水量が増え、低温で経過したことにより水稻の出穂が長引いたことから、穂いもちの発生時期は遅く、発生量は平年並みとなった。地域別にみると、北上、東磐井地域の発生ほ場は平年並より多く、一部ほ場では減収要因となった。

紋枯病の発生は、7月上旬に平均気温 22℃（稲体への進入可能温度）を超える日が出現したことから、早期感染が助長され、7月下旬にかけて広く発生が見られた。8月は低温で経過したため垂直進展は緩慢であった。収穫期の発生ほ場率は、過去 10 年間で最も高かった一昨年並に高く、発生程度も止葉まで枯れ上がる圃場が散見されるなど、平年より高かった。地域別では県北部と沿岸部の発生程度が高かった。

斑点米カメムシ類は、越冬世代の発生時期は早まり、第一世代で平年並み、第二世代は平年より遅くなった。発生ほ場率は7月下旬に平年よりやや高くなったが、8月下旬で平年並となり、9月中旬はやや低くなった。斑点米カメムシの種類は主にアカスジカスミカメであり、アカヒゲホソミドリカスミカメの発生は少なかった。

割れ粒率が平年より少なく、8月の低温寡照に経過したことからカメムシ類の活動が抑えられ、薬剤散布、畦畔管理が例年並に徹底されたことなどから、斑点米の発生は平年より少なくなった。

2 畑作物

1) 小麦

(1) 29 年産小麦（28 年播種）

ア 播種～初期生育

10月の始めは高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。このため、播種作業は、概ね平年並の時期に実施された。出芽および出芽後の生育も平年並～良好で、播種時期が早かったほ場では生育過剰となった。10月下旬から11月上旬にかけて気温が低くなり、生育は緩慢となった。

イ 越冬後の生育

根雪期間は農業研究センターセンターほ場（北上市）の観察では1/9～3/13までの64日間であり、過去10年の平均日より18日短かった。融雪が早かったほ場では、積極的に融雪期追肥を実施し、生育も順調であった。

ウ 茎立～出穂・開花

茎立は平年並であった。4月～5月にかけて気温も高くなったため、出穂は早まるかと思われたが平年並となり、薬剤防除は適期に行われたが、開花期に降雨が多く、赤かび病の感染が懸念された。

エ 生育・登熟状況

6月上旬からの低温や降雨により、登熟は緩慢となった。成熟期は平年並で、稈長や穂長もほぼ平年並となった。穂数はやや多く、子実水分はなかなか低下しなかった。

オ 刈取り状況

収穫作業は昨年よりもスタートが5日程度遅くなり、6月29日頃から始まった。茎が細く、青みが残るところを中心に倒伏が見られており、収穫量は平成28年産よりもやや少なくなった。収穫作業は概ね晴天に恵まれ、順調であった。

カ 成熟期調査結果（生育診断圃を中心とした）

- ・出穂 ナンブコムギ平年並・ゆきちから3日程度早い。
- ・成熟 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年並。
- ・稈長 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年並。
- ・穂長 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年並～やや短い。
- ・穂数 ナンブコムギ・ゆきちからとも1～2割程度多。

キ 収穫量及び検査結果

農林水産省発表による県平均収量は10a当たり平均収量対比115の203kg/10aとなった（28年産214kg/10a・対比122、27年産178kg/10a・対比100）。

29年産の麦類の検査結果は、検査数量が7,834t（28年産8,144t・27年産7,080t）、一等比率が89.4%（28年産91.6%、27年産95.5%）となった。

ク 病害の発生（病虫害防除所調査結果より）

- ・雪腐病：平年よりも発生ほ場率が低くなったが、県北地域での発生ほ場率は高かった。
- ・縞萎縮病、萎縮病：発生ほ場率、発生程度とも平年より高かった。
- ・赤かび病：6月中旬の巡回調査では、発生ほ場率は平年より高かった。ただし、発生程度中以上（発病穂率40%以上）のほ場は確認されなかった。品種別では、ゆきちからの発生割合が高かった。

（2）30年産麦（29年播種）

降雨等により稲刈が遅れた影響で播種が遅れたほ場が多くなった。播種は県南部等を中心に9月下旬頃より始まり、連作ほ場では平年並の時期に行われた。播種後も土壌が湿潤な状態が続き湿害傾向が見られた。

28年から29年にかけての根雪期間は、県北でやや短く、県中南部で平年並～やや長くなった。融雪後に低温が続き凍上害が心配されたが、影響はなかった。また、県南部で大雨による冠水被害が発生したが、滞水時間が短く、大きな被害とはならなかった。

2) 大豆

ア 播種～出芽期

6月上旬にまとまった雨が降り、地面がぬかるみ、作業に入れなかったほ場が多かった。また、低温、日照不足により発芽はやや遅れ、生育も緩慢となった。湿害ほ場が散見された。

イ 子葉展開期～本葉展開期

6月中旬以降、徐々に天候が回復し、7月上旬～中旬にかけて気温、日照とも平年を大きく上回る天候となったため、やや遅れていた生育は平年並となった。7月22～23日かけて大雨となり冠水や浸水したほ場が見られた。

ウ 開花期

7月下旬から、低温、寡照傾向が強くなり、開花期はナンブシロメが平年並、他の品種はやや遅くなった。黒根腐病、茎疫病の発生に加え、シュウリュウでのべと病の発生も見られた。葉色が濃いほ場でウコンノメイガの食害が散見された。

エ 莢伸長期～莢肥大期

開花以降、低温寡照傾向が続き、生育は緩慢となった。日照不足により開花以降、草丈が伸び、8月下旬の大雨等で倒伏するほ場も目立った。登熟は緩慢で、大雨や台風通過後、茎葉の擦過傷からの病原菌侵入により葉焼病・斑点細菌病などの発生が見られた。

オ 黄変期～成熟期

葉焼病や斑点細菌病等の早期落葉症状を呈する病害に罹病したほ場では黄化が早い、登熟が緩慢だったため、全般に黄化状況も平年と比べてやや遅くなったところが多かった。

カ 諸障害の発生状況

- ア) 出芽不良・湿害：出芽不良及び初期の湿害は、6月中旬～7月上旬を中心に発生。ほ場が乾かず、排水対策の徹底を呼びかけた。
- イ) べと病：昨年に引き続き、シュウリュウを中心に発生。
- ウ) 茎疫病：大雨が頻発することから排水不良あるいは連作ほ場で散見。
- エ) 黒根腐病：連作ほ場が多くなっており、急激な乾湿による発生が広く全県で発生が見られる。
- オ) 葉焼病・斑点細菌病：台風や突風等による強風により茎葉に生じた傷害から感染したと推測され、広く発生が見られた。葉の黄化が早くなった。
- カ) ダイズシストセンチュウ：昨年シストセンチュウが確認され、密度が高まっているほ場では、抵抗性の強い品種を作付けしていても、茎葉の黄化が見られる。大豆連作ほ場(特に畑地)では潜在的に発生していると推測された。
- キ) 大雨・台風による浸冠水・土砂流入：内陸部を中心に大きな被害が生じる。複数回浸水、冠水したほ場もあった。茎疫病や黒根腐病の他、莢への泥の付着による登熟停止、腐敗粒が発生。
- ク) 雑草害：播種時の土壌処理剤はほとんどのほ場で適期に実施されている。帰化アサガオ類、アレチウリといった難防除雑草と、バサグランの効果が劣るヒユ類、シロザ、エノキグサの発生が目立った。生育後半のタデ類の発生も目立つ。また、連作圃場が増えていることから、ツユクサやスギナ等畦畔からの侵入も増加している。
- ケ) 莢先熟(青立ち株)：莢だけが先に水分が低下し、茎水分がなかなか低下しない状況が散見された。莢先熟は、株の生育は良好だが、一株あたりの莢数が少ない場合や、子実の生育が不良な場合に発生しやすい。(バランスの悪い生育)

キ 収量及び品質

平成30年4月10日現在の10aあたり収量は、県全体で116kg/10a、平均収量対比は92となった(28年産147kg/10a、27年産153kg/10a)。

平成30年3月末日現在の29年産岩手県産普通大豆の一等比率は24.6%であった(28年産47.0%、27年産53.8%)。

3 野菜

1) きゅうり

露地普通作型では、定植から生育初期にかけての低温・日照不足により生育が遅れたが、6月中旬から7月中旬にかけて高温となったことから一気に生育が進み出荷量も増加した。

しかし、7月下旬以降は再び気温低下・日照不足となったことから、8月中の出荷量は伸びなかった。また、9月の好天により一部では生育の回復が見られたものの、9月中旬の台風等の影響で収穫終了となるほ場が多かった。

病害虫では、定植後の低温と降雨の影響で早期から黒星病と斑点細菌病が多く見られた。また、7月下旬以降、炭疽病が急増し、早期枯れ上がりの要因にもなった。キュウリホモブシス根腐病については、土壌消毒等の対策技術の実践は進んだものの発生ほ場面積は昨年よりも増加した。

また、前年に多く発生して問題となったフケ果については、高温となった7月上～中旬に多く発生したものの、気温が低下した7月下旬以降はほとんど見られなかった。

2) トマト

雨よけ作型の定植後は概ね順調な生育となったが、5月下旬から6月上旬の日照不足により生育が遅れた。また、6月中旬から7月中旬に高温となったことで一時的に出荷量が増加したものの、7月下旬以降の気温低下・日照不足により再び生育・着色が遅れ、例年出荷ピークとなる8月上旬の出荷量は少なかった。その後も出荷量は伸びず、9月に生育がやや回復したものの気温低下により収穫終了となった。

病害虫では、低温・曇天の影響により灰色かび病や葉かび病の発生が多かった。また、8月以降はうどんこ病やコナジラミ類の発生も多くなった。土壌病害では、かいよう病の発生が広く見られた。

生理障害果では、収穫初期は低温によるチャック果・窓あき果、8月下旬以降は日照不足による小玉果が多く発生した。

3) ピーマン

4月から5月にかけて平均気温が高く、施設作型では生育が促進された。5月下旬から6月上旬にかけて降水量が多く、露地作型ではほ場準備や定植作業が遅延した。6月中旬から7月中旬にかけて再び高温乾燥状態となり、施設作型では尻腐果が発生した。7月下旬からは一転して曇雨天と気温低下の継続により生育や果実肥大が停滞し、8月から赤果や老化によるひび割れ果が多発した。9月に天候は回復し生育も回復のきざしを見せたものの出荷量は回復しなかった。

病害虫は、6月以降灰色かび病やアブラムシ、アザミウマ類の発生が増加し、タバコガは7月以降継続的に発生が確認された。多湿となった8月には白絹病の発生が確認される地域が多かった。

4) ほうれんそう

雨よけほうれんそうは、融雪遅れや強風による作業の遅れ、低温等の影響で、春先は生育や出荷開始時期が遅れる傾向にあり、また、一部地域で4～5月に強風による施設等の被害が発生した。その後、概ね順調に生育したが、7月に高温が続くと生育抑制や枯死等の高温障害が発生するようになり、また、内陸部では下旬の大雨の影響による浸水の影響も見られた。7月下旬以降、低温・日照不足のため軟弱徒長気味の生育となり、特に日照の少ない日が続いた沿岸部で影響が大きかった。一部で8月下旬の大雨の影響を受けたが、9月以降は概ね順調な生育となった。

病害虫は萎凋病が7月以降発生し、アブラムシ類は6～10月、アザミウマ類は5～7月を中心に発生した。ケナガコナダニ類は4月から継続して発生した。

5) ねぎ

定植は順調に進んだが、5月に乾燥の影響を受け、若干の生育遅れや葉先枯れ等が発生した。その後は、概ね順調に生育が進んだが、7月に高温乾燥で生育が停滞気味になるほ場や、下旬の大雨による浸水等の影響を受けたほ場もあった。また、8月には降雨が続いて全般的に土寄せ等の管理が遅れる傾向にあり、その後の作業も遅れ気味に経過する地域が多かった。9月中旬と10月には台風の影響で、倒伏や葉折れの発生、曲がりによる品質の低下等が見られた。

病害では、小菌核病、葉枯病、黒斑病、べと病、さび病、軟腐病等の発生が見られた。特に、葉枯病の黄色斑紋病斑が8月下旬以降例年より多く発生する傾向にあった。虫害ではア

ザミウマ類、ネギコガ、ネギハモグリバエ等の発生が見られた。

6) キャベツ

高冷地キャベツの定植は平年並みの4月中旬から始まったが、全般にほ場準備が遅れ気味で、一週間程度定植が遅れる傾向にあった。定植後は、概ね順調に生育していたが、6月の低温の影響で、出荷開始はやや遅くなった。その後、概ね順調に生育・出荷が続いていたが、8月の低温、日照不足により生育が大幅に遅れ、9月の出荷量が一時大幅に減少。出荷量は徐々に回復したが、10月は揃いが悪い傾向にあった。

病害は、べと病、株腐病、軟腐病、根こぶ病、根朽病の発生が見られた。虫害は、コナガ、アオムシ、タマナギンウワバ等の被害が見られた。

7) レタス

平場の春レタスはほぼ平年並みの3月中旬から定植開始となり、概ね順調に生育し、平年並みの出荷開始となったが、乾燥により小玉傾向になった地域もある。

高冷地レタスの定植は、平年並の4月中旬から開始され、作業も順調に進んだ。生育は概ね平年並みで、出荷開始時期も平年並みの5月下旬からとなった。その後の曇天で生育が遅れたものもあったが、6月下旬以降は回復した。7月には高温のため日焼けの発生も見られ、8月以降は低温・日照不足等の影響で生育が停滞気味になり、出荷量は平年並みであったが、収穫適期より前倒しで収穫が行われるようになった。収穫終了時期はほぼ平年並みであったが、8月の天候不順で定植が遅れたほ場では収穫に至らないものもあった。

病害は、6月以降、すそ枯れ病やべと病、菌核病、軟腐病、斑点細菌病等が発生した。虫害は、アブラムシ類、オオタバコガ、ウリハムシモドキ等の発生が見られた。

4 花き

1) りんどう

(1) 生育期

萌芽期及び展葉期はほぼ平年並みであった。5月までは高温傾向で推移したため、平年並み～平年をやや上回る生育であったが、6月に入って低温が続く生育がやや緩慢となった。草丈及び節数は、6月まで少雨傾向であったため、平年を若干下回った。

(2) 開花期

8月盆需要期用品種は、7月に入って極端な高温が続いたため、花蕾の発達が停滞した。さらに、7月下旬のまとまった降雨もこれを助長したため、開花期は平年並み～平年より数日程度遅れた。

9月彼岸需要期用品種は、8月の涼温によって順調に生育し、ほぼ平年並みの開花期となった。

(3) 病害虫

病害については、葉枯病、花腐菌核病がやや多発傾向であったほか、黒斑病が一部地域で多発した。

害虫については、主要害虫であるリンドウホソハマキ、アザミウマ類、ハダニ類ともに平年並みまたは少発傾向で、全般に発生が少なかった。

(4) その他

県央以南の産地で、早生種を中心に花卉の高温障害(花色の退色、花蕾の奇形)が発生した。

2) 小ぎく

(1) 育苗・定植期

冬春期は比較的温暖で推移したため、採穂用親株の生育は良好で、育苗も順調に行われた。8月咲、9月咲品種ともに概ね計画どおりに定植が行われた。

(2) 生育期・開花期

定植後、6月までは比較的適温条件であったため生育は順調に進んだ。しかし、7月に入り極端な高温で推移したため、8月咲品種の花蕾が発達せず、7月下旬の多雨・寡照条件も影響して、平年よりも1週間程度開花が遅れた。

9月咲品種は、8月の涼温によって順調に生育が進み、平年並みから平年よりも数日程度早い開花期となった。

(3) 病害虫

病害については、べと病が親株や育苗時から多発し、本ほでも定植直後から発生する例がみられた。同じく白さび病も親株や育苗時から多発する地域が多く、苗からの病気持ち込みによる本圃での発生も多く、収穫に影響を及ぼす例もみられた。

害虫については、主要害虫であるアブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類ともに局地的な発生はみられたものの、全般的に平年並みから少発傾向であった。

5 果樹

1) りんご

(1) 花芽の状況

平成29年産りんごの花芽の状況は、花芽率を県平均で見ると「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」ともほぼ平年並であった。ただし一部地域の「ふじ」では平年以下となっており、地域的なバラツキも見られた。

弱小花芽率は、県平均と比較すると「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」ともほぼ平年並であった。一方、園地により弱小花芽率が高い地点も多く、花芽率同様、バラツキが大きい傾向にあった。

平成28年は、8月に3つの台風が接近したことにより降水量が多かったため、花芽率の低下が懸念されたが、花芽形成が盛んとなる6～8月の日照時間は、7月が平年並、8月が平年より多かったことなどにより、花芽率は概ね平年並になったと考えられた。一方、花芽率が低い園地では、過去数年の土壤乾燥により樹勢が低下していることに加えて、平成29年8月の降雨による排水不良等によりさらに樹勢が衰弱し、花芽が十分に形成されなかったものと推察された。

(2) 発芽期から展葉期の状況

3月の気温がほぼ平年並であったため、発芽もほぼ平年並で、記録的に早かった前年と比較すると7日程度遅かった。展葉期は平年並からやや早めで、前年より5日程度遅い。なお展葉は、県中北部で平年より早まった傾向にあり、これは発芽以降の高温で、県中北部ほど生育が促進されたためと推察された。

(3) 開花期および結実の状況

開花始めは平年並からやや早めとなり、前年より4日程遅い。開花始め前後の5月上旬が高温となり、例年よりも品種間・地域間の差が少ない状況。満開期は平年より2日程度早まり、前年より数日の遅れとなった。

開花期間中、総じて気温は高かったものの風が強くとまとまった降雨もあり、特に7～8日の強風、10日以降の降雨時に開花を迎えた地域や品種では、結実への影響も確認され、花数結実率や中心花結実率が平年を10%以上下回る地域もあった。

(4) 果実肥大の状況

開花期がほぼ平年並であり、その後も生育期間を通じて適度な降雨があったことから、収穫期の果実はほぼ平年並の大きさとなった。

(5) 収穫期と果実品質の状況

早生品種の「つがる」の果実品質は概ね平年並であったものの、地域による熟度のバラツキが大きい傾向にあり、特に沿岸部で硬度・デンプン指数の低下が早い傾向にあった。このことは、地域による8月の低温日照不足の程度によるものと推察された。

中生品種の「ジョナゴールド」の果実品質も概ね平年並だったが、8～9月のまとまっ

た降雨の影響からか、着色や地色上がりが遅れる傾向にあった。

晩生種の「ふじ」の果実品質は、硬度・デンプン指数・蜜入り指数はほぼ平年並で、糖度は平年よりやや低めの傾向にあった。また地域による糖度のバラツキが大きい傾向にあり、その要因は判然としないものの、8～10月の日照不足や落葉が早い影響等も考えられる。着色は、9～10月の気温が平年並からやや低かったため、全般的に良好。ただし、地域やほ場によってツル割れが目立つ傾向もあった。

(6) 気象災害の発生状況

9月18日には台風第18号の強風で、県中部を中心に地域に落果・倒木等の甚大な被害が発生し、10月22～23日には台風第21号で、30日には温帯低気圧の影響で落果被害が発生し、また11月11日には前線の通過によって落果被害が発生するなど、気象災害が非常に多い年となった。

(7) 病害虫の発生状況

病害では、全県的に褐斑病の発生が多く、これは一次感染期の好適な条件が例年（5月第5～6半旬）よりも早い5月第3半旬に出現し、本病を対象とした落花期防除前に感染が成立したため、広域的な発生の要因になったと考えられた。その他の病害では、実害は無いものの、例年ほぼ発生が見られないモニリア病、黒星病の発生が確認された。

虫害では、リンゴハダニの発生が多く、これは前年の越冬量が多かったことと、散布した殺ダニ剤の種類による効果差と推察された。その他の害虫ではシンクイムシ類の発生が例年よりやや多く、夏季の降雨日が多く防除間隔が空いたためと考えられた。

(8) 作柄評価について

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績から、数量で前年対比96%となった。これは、出荷果実が全般的に小玉傾向であったことと、4回に及ぶ台風等の強風の影響で落果被害が発生したことなどが、数量減の大きな要因と考えられた。

販売単価は前年比96%となり、これは小玉傾向と早生の出荷リレーが上手くいかなかったことなどが要因と推察されるが、昨年全国的に不作の傾向から高値で推移したことを考慮すると、概ね平年並の単価であったと言える。

2) ぶどう

(1) 発芽期から展葉期の状況

4月中下旬が平年並の気温で経過したことから、発芽期は5月4日とほぼ平年並で、前年より7日遅くなった。5月上旬の気温が高めで経過したため、発芽以降の生育が早まり、展葉期で5月8日と平年より2日早く、前年より1日遅い生態となった。

(2) 開花期から結実期の状況

5月の気温が高めで推移したため生育も促進され、開花始が6月12日、満開期が15日と平年より2日早まった。ただし、開花期間中が低温・曇天で推移し、開花が揃わずに長びくとともに、一部品種では花ふるいも見られ、結実率は平年よりやや低くなった。

(3) 新梢伸長期の状況

5月15日時点の新梢生育は、この時期気温が高かった昨年より遅れているものの、概ね平年並の新梢生育でのスタートとなった。それ以降も適当な降雨があったことから、収穫期まではほぼ平年並の新梢生育となった。

房長は平年よりやや短めとなったが、果粒肥大はほぼ平年並となった。

(4) 収穫期の状況

着色始期は、8月に入って気温が低下したことから平年より4日、着色終期も6日早くなったが、摘房が遅れた園地、着房数が多い園地を中心に着色が進まなかったため、収穫期はほぼ平年並みとなった。

収穫期の「キャンベルアーリー」の果実品質は、平年と比較して房長がやや小さいものの、果粒は平年並で、糖度は平年より高くなった。また7～9月に降水量が多かったため、

大粒種を中心に裂果の発生が見られた。

(5) 病害虫の発生状況

8月以降の曇天、降雨等により、醸造用品種でべと病等の病害の発生が多かった。害虫の発生は全般的に少なかったが、昨年「キャンベル」等で発生が確認されたカイガラムシについては、「カツラマルカイガラムシ」と特定された。

(6) 作柄評価について

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績から、前年比 83.5%の出荷数量となった。これは開花期が低温、曇天傾向で経過したことから結実数の減少や、8月以降の曇天多雨の影響で収穫期の遅延や裂果の発生などによる出荷ロスが原因と考えられた。

販売単価については前年比 110%であり、概ね好調な単価が維持された。

6 飼料作物

1) 牧草

(1) 1 番草

5月は平均気温が高めに推移したが、生育は平年並であった。収量はやや不良からやや良と地域によりバラつきが大きかった。5月下旬以降の天候不順により収穫が遅れた地域もあった。

(2) 2 番草

平均気温は6月は平年より低め、7月は高めに推移した。収量は概ね平年並からやや良であった。8月に入ってから天候不順により2番草収穫が遅れた地域があった。

(3) 3 番草

収量は概ねやや不良であったが、一関は良好であった。とくに2番草収穫が遅れた地域では3番草の収穫遅延による減収や収穫断念が認められた。

2) 飼料用とうもろこし

(1) 播種～生育・出穂期

消雪は早かったが、4月に入ってから天候不順によりほ場準備作業が遅れた。それに伴い播種作業も遅れた地域が多かった。その後も天候不順により生育も遅れ気味で推移したが、7月前半の高温により生育の遅れは大幅に回復した。

(2) 収穫期

8月に低温で経過したことから登熟は遅く、収穫開始時期もやや遅かった。

9月18日に本県に接近した台風18号により、沿岸北部地域、八幡平市、花巻市、奥州金ヶ崎地域を中心に倒伏、折損被害が発生した。生育調査ほにおける県内の収量はやや不良～平年並となった(岩泉地域は調査不能)。

(3) 気象災害の発生状況

台風第18号等の影響により倒伏や折損など県央部を除く地域では甚大な被害があり(再掲)、作業遅延や収穫不能による減収が発生した。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

冬期の降雪が少なく、3月中も降雨がなく乾燥状態が続いた。3月下旬から4月中旬にかけてまとまった降雨があったものの強風の影響で乾燥状態が続いた。気温については、3月中は低温が続き、4月に入り日中は上昇したが、朝・晩の冷え込みから発生最盛期が遅れたり、なかった地域もあったことから、原木乾しいたけの生産量は平成28年を下回る71t（平成30年9月28日・林野庁公表）となった。

(2) まつたけ

夏の天候不順により菌糸の生長が阻害され、10月の子実体発生時期には降水量が多く発生不良が見られたことから、全県的に凶作となった。

8 水産物

(1) 養殖わかめ

前年の台風第10号による種苗の流出があったが、漁協間の調整やフリー種苗の配布により必要な種苗は概ね確保できた。漁期中は時化も無く、水温や栄養塩が順調に推移したことから順調に生育し、生産量は前年を上回る15,770t（県水産振興課調べ）となった。

(2) 養殖こんぶ

平成29年初夏の水温が高めに推移したことで生育不良が発生し、生産量は前年並の5,884t（県水産振興課調べ）となった。

(3) 養殖ほたてがい

一部海域で貝毒の発生による自主規制が長期化したこと等により、生産量は前年を下回る2,840t（県水産振興課調べ）となった。

(4) 養殖かき

成貝出荷が順調に行われ、生産量は前年を上回る4,508t（県水産振興課調べ）となった。

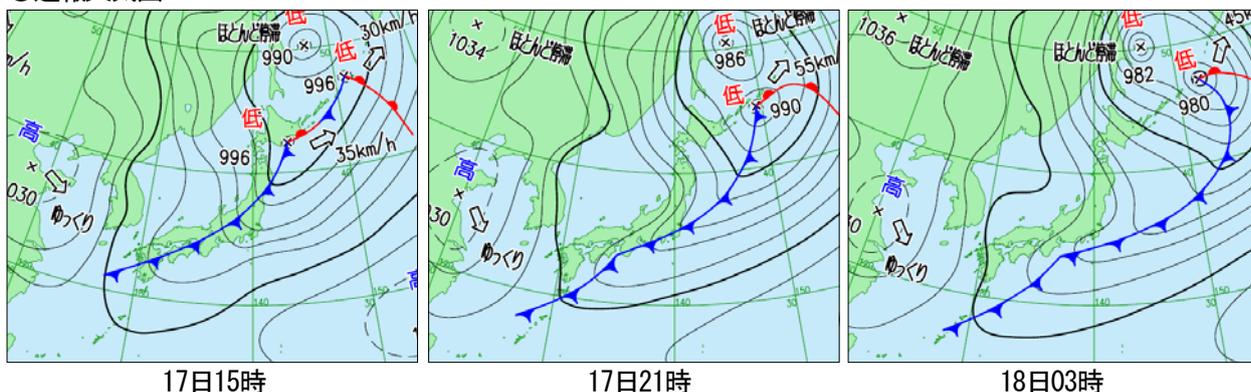
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 2月17日から18日の強風災害

(1) 気象概況

17日、低気圧がオホーツク海南部にあつて急速に発達しながら北東に進み、そこからのびる寒冷前線が日本を通過、北日本は19日にかけて冬型の気圧配置となった。このため、県内は17日夜から18日朝にかけて広い範囲で西よりの風が強まった。

○速報天気図



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(17日～18日)

種別	地域
暴風雪	沿岸北部
暴風	岩手県
風雪	内陸、沿岸南部
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
乾燥	沿岸北部、沿岸南部
なだれ	沿岸北部、盛岡地域、二戸地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市

○岩手県気象情報の発表状況(17日～18日)

発表時分	標題
17日15時54分	暴風雪と高波に関する岩手県気象情報 第1号
18日01時41分	暴風と高波に関する岩手県気象情報 第2号
18日05時44分	暴風と高波に関する岩手県気象情報 第3号

○主な地点の風速(m/s) (17日～18日)

地点名	最大(風向 起時)	最大瞬間(風向 起時)
小本	10.7(南西 18日00時50分)	24.8(南西 18日00時53分)
紫波	20.1(西 18日01時48分)	27.0(西 18日01時02分)
川井	12.7(南南西 18日05時15分)	26.1(南 18日05時06分)
新町	11.4(北西 18日01時04分)	24.0(北西 18日01時02分)
釜石	11.4(西 18日01時06分)	26.0(西北西 18日01時44分)
若柳	17.9(西 18日00時43分)	26.2(西 18日01時50分)
大船渡	15.0(北西 18日00時32分)	25.1(北西 18日01時12分)

(2) 被害状況

(単位:千円)

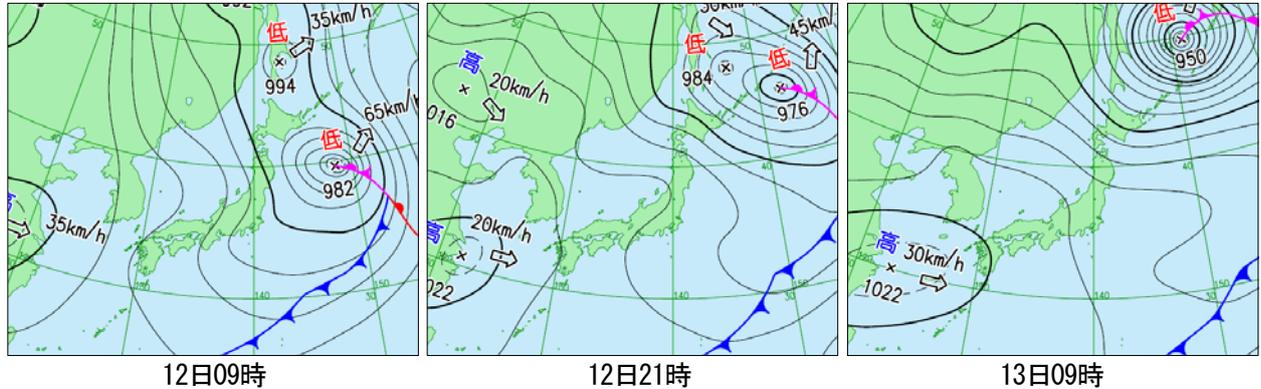
区分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	4,363	パイプハウス42棟	花巻市、北上市、紫波町等6市町
	農作物	451	ミニトマト0.03ha	紫波町
林 業	林業施設	1,000	特用林産施設1箇所	矢巾町
水産業	漁船	690	漁船5隻	釜石市、大槌町
計		6,504		5市4町

2 4月12日から13日の強風災害

(1) 気象概況

12日、前線を伴う低気圧が三陸沖にあって発達しながら北東に進み、日本付近は次第に西高東低の気圧配置となり、13日まで続いた。このため、県内は広い範囲で西よりの風が強まった。

○速報天気図



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(12日～13日)

種別	地域
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
乾燥	岩手県
濃霧	岩手県
霜	岩手県
なだれ	盛岡地域、二戸地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、釜石地域、宮古市、久慈市、遠野市、一関市、住田町、山田町、岩泉町
融雪	奥州金ヶ崎地域、両磐地域

○主な地点の風速(m/s) (12日～13日)]: 資料不足値

地点名	最大(風向 起時)	最大瞬間(風向 起時)
小本	8.6 (南西 13日13時00分)	24.6 (南南西 13日15時48分)
川井	9.2 (南西 13日18時51分)	23.8 (南南西 13日18時46分)
大迫	10.8 (西 13日12時33分)	24.3 (西 13日12時30分)
遠野	12.5 (西 13日11時29分)	23.8 (西 13日19時34分)
新町	11.6] (西北西] 13日16時26分)	25.9] (北西] 13日15時11分)
釜石	10.4 (西 13日17時53分)	24.9 (西 13日17時40分)
若柳	17.7 (西 13日15時52分)	27.5 (西 13日15時30分)

] : 資料不足値

(2) 被害状況

(単位: 千円)

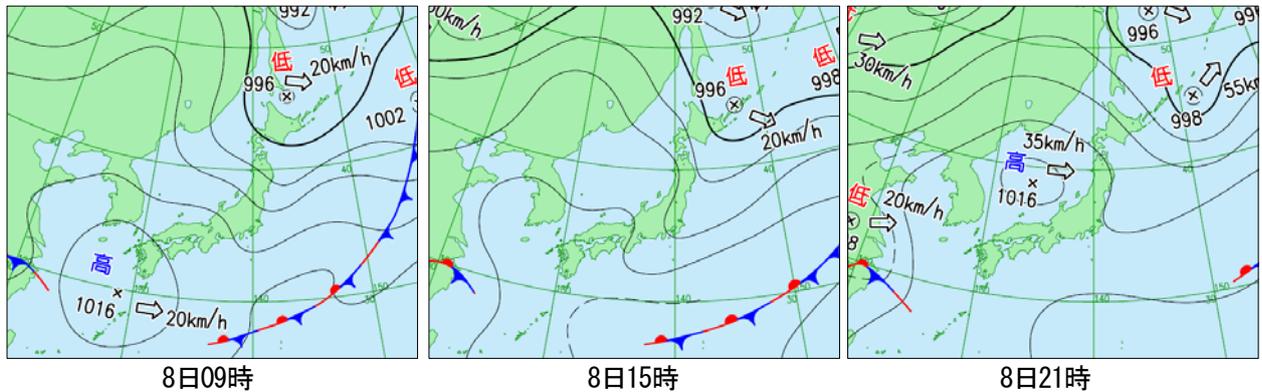
区分	被害額	被害状況	被害地域
農 業 農業施設	8,161	パイプハウス94棟	花巻市、北上市、一関市等8市町
計	8,161		5市3町

3 5月8日の強風災害

(1) 気象概況

低気圧が間宮海峡付近にあって東南東に進み、一方、高気圧が九州の西にあり、東北地方は気圧の傾きが急になった。このため、県内は広い範囲で西よりの風が強まった。

○速報天気図



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(8日)

種別	地域
強風	岩手県
乾燥	岩手県
霜	岩手県
なだれ	一関市、八幡平市、奥州市、雫石町、西和賀町

○主な地点の風速(m/s)(8日)

地点名	最大(風向 起時)	最大瞬間(風向 起時)
久慈	15.9(西南西 10時39分)	27.8(西 10時34分)
岩泉	13.4(西南西 09時29分)	27.1(西 10時06分)
宮古	11.7(西南西 11時33分)	26.2(西南西 11時06分)
紫波	16.2(西 13時46分)	27.8(西北西 12時10分)
川井	8.4(西 10時21分)	24.1(西南西 10時16分)
新町	12.4(西北西 12時34分)	28.4(北西 10時48分)
釜石	14.0(西 10時52分)	25.9(西 10時47分)
若柳	15.1(西 16時54分)	24.5(西 11時19分)

(2) 被害状況

(単位:千円)

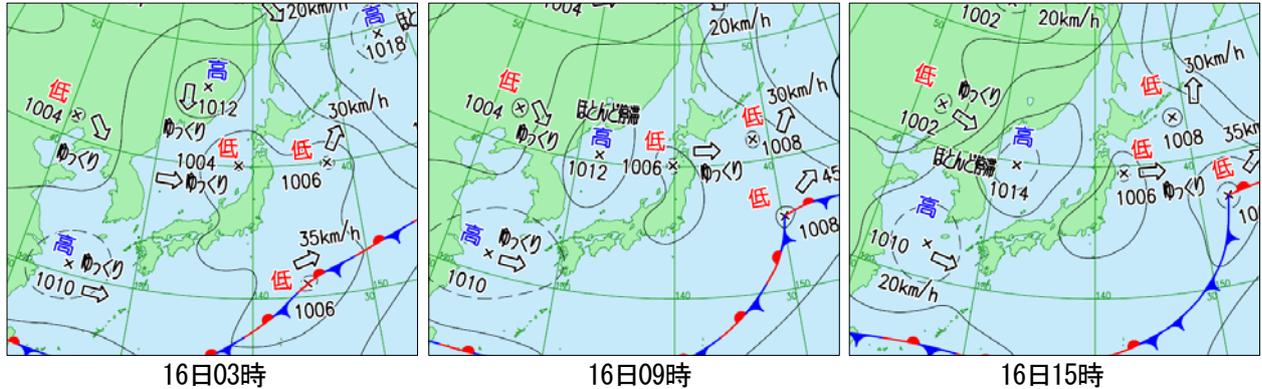
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	9,970	パイプハウス123棟	北上市、花巻市、久慈市等8市町村
計	9,970		5市2町1村

4 6月16日の降雹災害

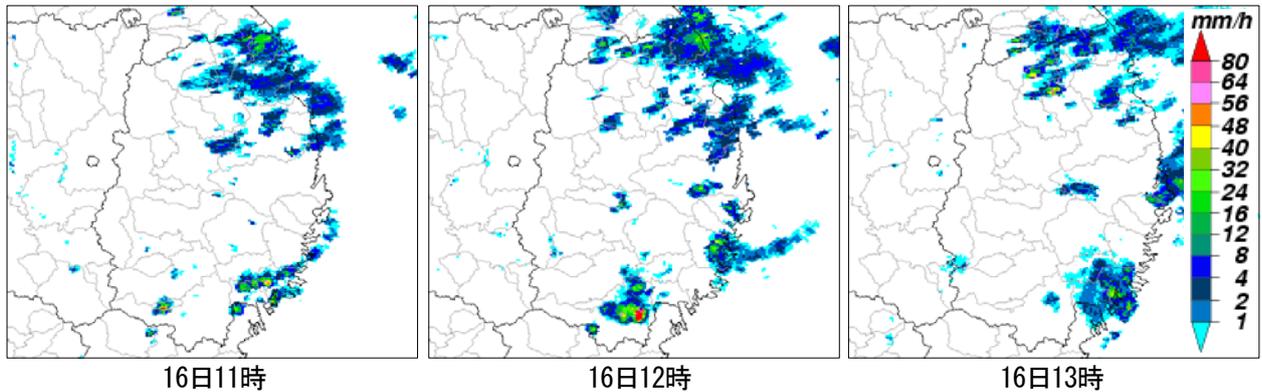
(1) 気象概況

上空に寒気を伴った低気圧が秋田沖にあって、ゆっくり東に進み東北北部を通過した。このため、県内は大気の状態が不安定となり、所々でやや強い雨や雷雨となった。

○速報天気図



○レーダーエコー



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(16日)

種別	地域
大雨	久慈市、洋野町
洪水	久慈市、洋野町
雷	岩手県
濃霧	岩手県

(2) 被害状況

(単位:千円)

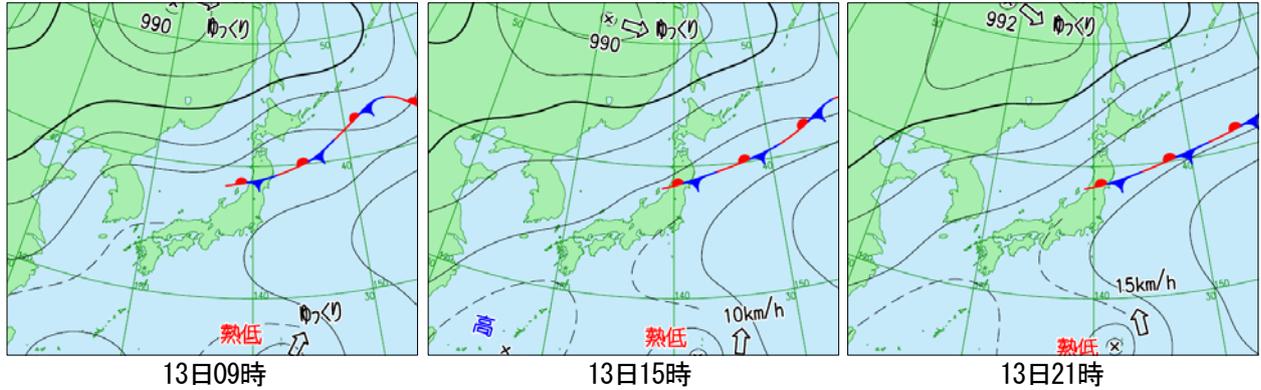
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農作物	526	トマト等野菜0.4ha、りんご2.0ha、小菊0.1ha、葉タバコ2.0ha	一関市
計	526		1市

5 7月13日の大雨災害

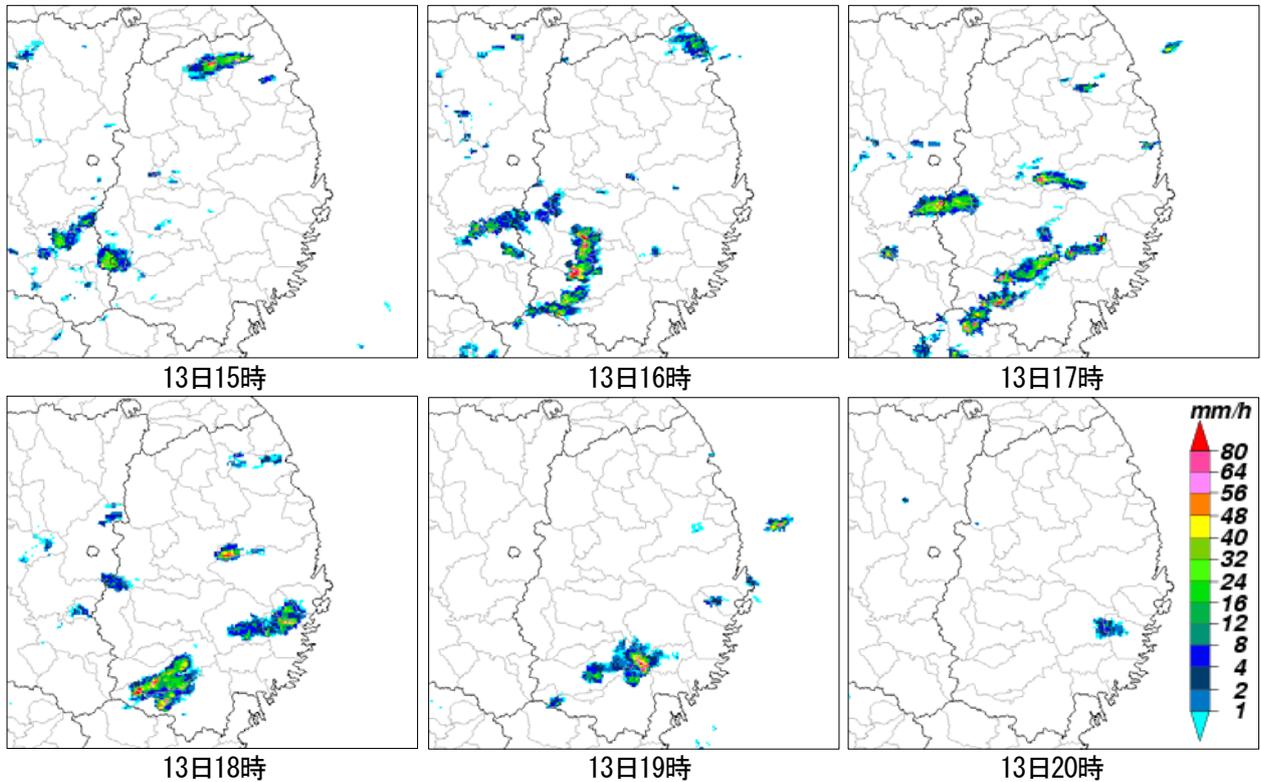
(1) 気象概況

梅雨前線が東北地方に停滞し、県内は内陸の南部を中心に大雨となった。

○速報天気図



○レーダーエコー



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(13日)

種別	地域
大雨	奥州金ケ崎地域、両磐地域
洪水	奥州金ケ崎地域、一関市
雷	岩手県
濃霧	岩手県

○岩手県気象情報の発表状況(13日)

発表時分	標題
17時56分	雷と突風に関する岩手県気象情報 第1号

○主な地点の降水量(mm) (13日)

地点名	最大1時間(起時)	日合計
若柳	27.0(17時08分)	30.5
衣川	36.0(18時49分)	52.0

(2) 被害状況

(単位:千円)

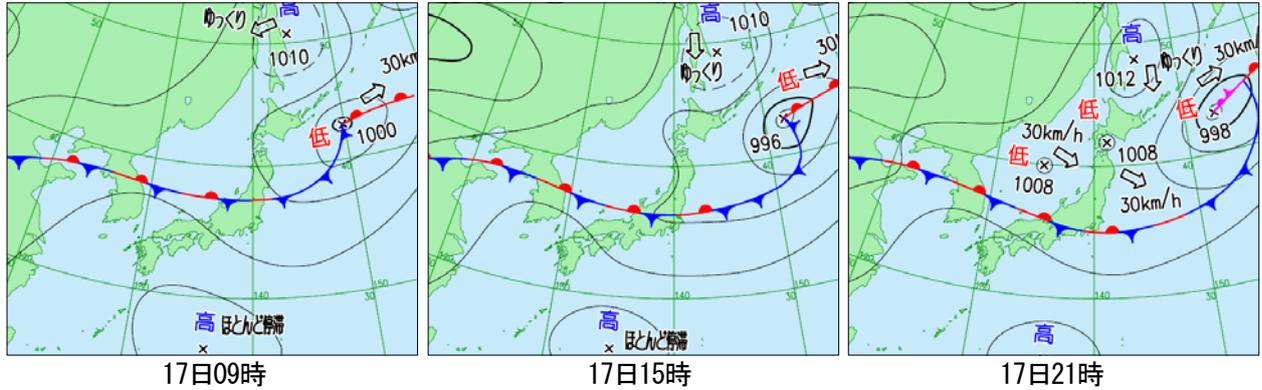
区分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農地・農業用施設	2,000	農地2箇所	奥州市
計		2,000		1市

6 7月17日の大雨災害

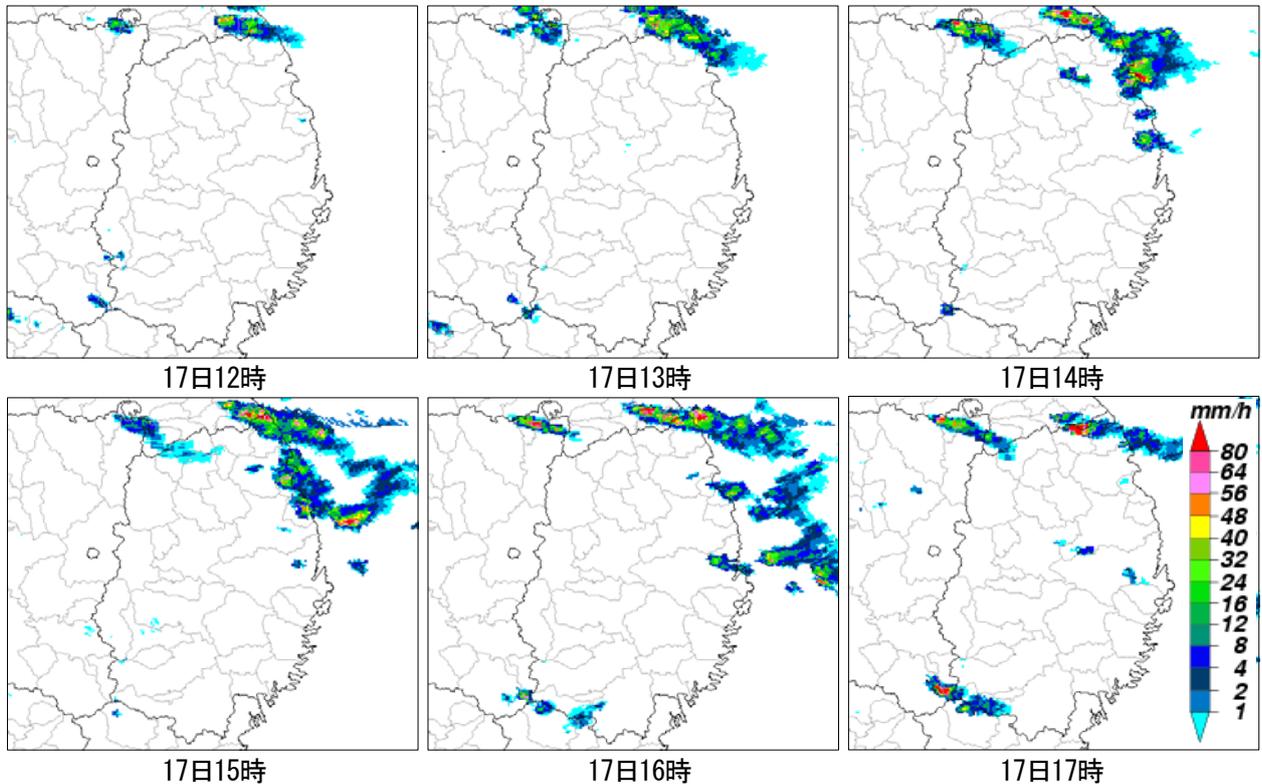
(1) 気象概況

東北地方の上空に寒気が流れ込み大気の状態が不安定となり、県内は沿岸北部を中心に大雨となった。

○速報天気図



○レーダーエコー



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(17日)

種別	地域
大雨(土砂災害)	久慈市、洋野町
大雨(浸水害)	洋野町
洪水	洋野町
大雨	二戸地域、久慈市、一関市、八幡平市、葛巻町、岩手町、岩泉町、洋野町
洪水	久慈市、二戸市、岩手町、軽米町、九戸村、洋野町
雷	岩手県
濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(17日)

発表時分	号数	地域
15時10分	第1号	洋野町
19時05分	第2号	解除

○岩手県気象情報の発表状況(17日)

発表時分	標題
14時47分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号
15時53分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第2号
18時43分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第3号
21時54分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第4号

○主な地点の降水量(mm)(17日)

地点名	最大1時間(起時)	日合計
種市	53.5(15時55分)	112.5

(2)被害状況

(単位:千円)

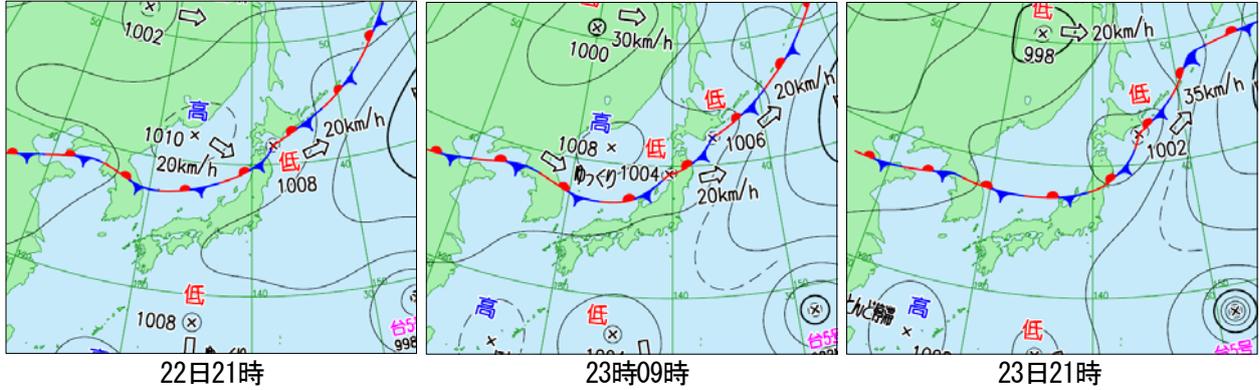
区分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農地・農業用施設	6,000	農地2箇所、水路1箇所	洋野町
計		6,000		1町

7 7月22日から23日の大雨災害

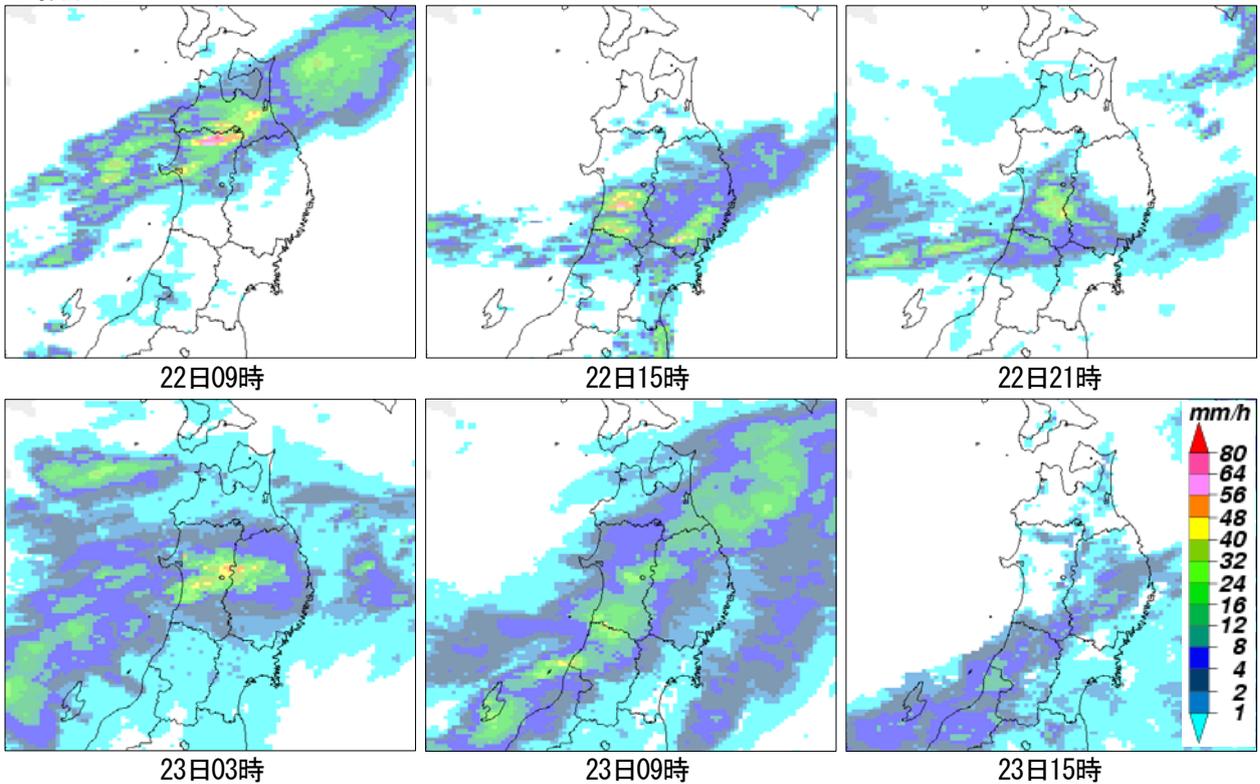
(1) 気象概況

22日は梅雨前線が東北北部に停滞、23日は梅雨前線が東北地方を南下し、梅雨前線上の低気圧が東北北部を通過した。このため、県内は内陸を中心に大雨となった。

○速報天気図



○解析雨量



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(22日~23日)

種別	地域
大雨(土砂災害)	盛岡地域、二戸地域、花北地域、宮古市、遠野市、岩泉町、洋野町
大雨(浸水害)	盛岡市、二戸市、八幡平市、滝沢市、矢巾町、軽米町
洪水	盛岡地域、二戸地域、花北地域、久慈市、遠野市、奥州市、岩泉町、洋野町
強風	岩手県
高潮	釜石地域、宮古市、久慈市、山田町、普代村、野田村
大雨	内陸、久慈地域、宮古市、陸前高田市、釜石市、住田町、岩泉町、田野畑村
洪水	内陸、宮古市、大船渡市、久慈市、岩泉町、洋野町
雷	岩手県
濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(22日～23日)

発表日時分	号数	市町村
22日12時05分	第1号	二戸市、八幡平市
22日14時35分	第2号	二戸市
22日15時35分	第3号	解除
22日20時20分	第1号	西和賀町
22日22時40分	第2号	解除
23日00時55分	第1号	雫石町、紫波町
23日02時30分	第2号	八幡平市、雫石町、紫波町
23日03時50分	第3号	八幡平市、滝沢市、雫石町
23日08時01分	第4号	二戸市、八幡平市、滝沢市、雫石町
23日09時35分	第5号	盛岡市、二戸市、八幡平市、滝沢市、雫石町
23日14時15分	第6号	盛岡市、滝沢市、雫石町
23日16時15分	第7号	解除

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(22日～23日)

発表日時分	号数	地域
22日09時03分	第1号	内陸
22日10時01分	第2号	内陸
22日11時00分	第3号	内陸
22日12時17分	第4号	内陸
22日14時17分	第5号	内陸
22日15時37分	第6号	内陸
23日02時18分	第1号	内陸

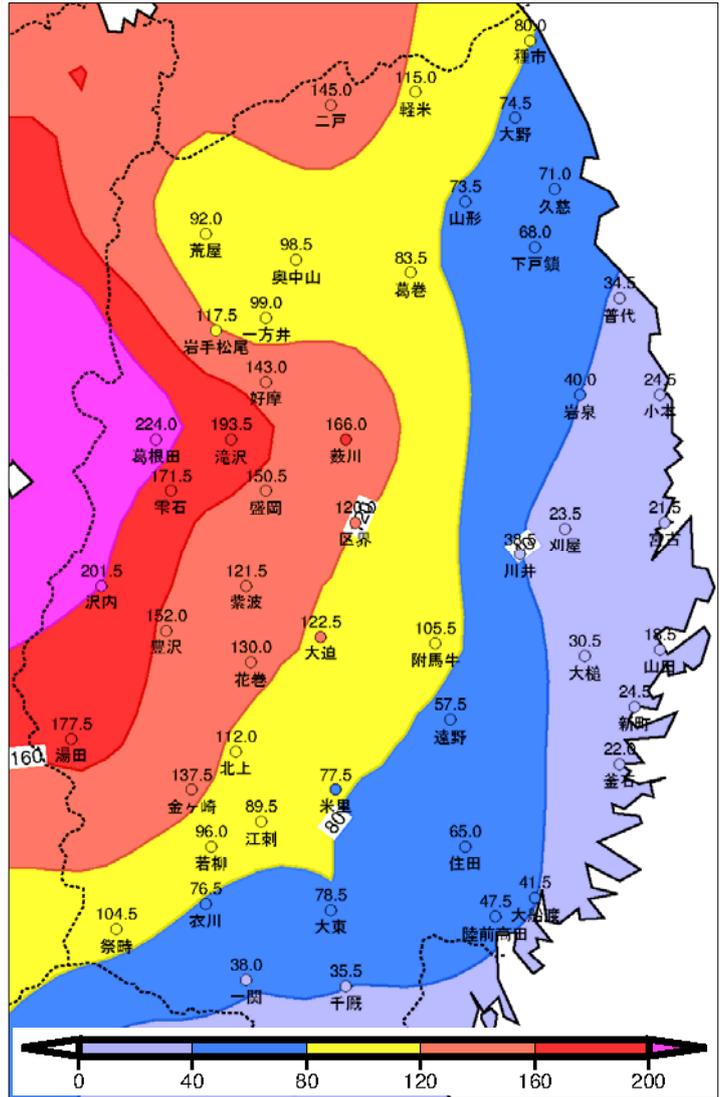
○岩手県気象情報の発表状況(21日～23日)

発表日時分	標題
21日16時53分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号
22日06時16分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第2号
22日13時13分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第3号
22日16時54分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第4号
22日23時38分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第5号
23日06時28分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第6号
23日11時34分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第7号
23日17時20分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第8号

○主な地点の降水量(mm) (22日~23日)

地点名	最大1時間(起時)	期間合計
葛根田	43.5 (23日01時41分)	224.0
滝沢	45.5 (23日01時57分)	193.5
藪川	22.5 (23日12時03分)	166.0
雫石	25.0 (23日01時10分)	171.5
盛岡	23.0 (23日01時35分)	150.5
沢内	32.5 (23日00時02分)	201.5
豊沢	23.5 (22日23時01分)	152.0
湯田	34.5 (22日17時10分)	177.5

○期間合計降水量分布図(mm) (22日~23日)



(2) 被害状況

(単位:千円)

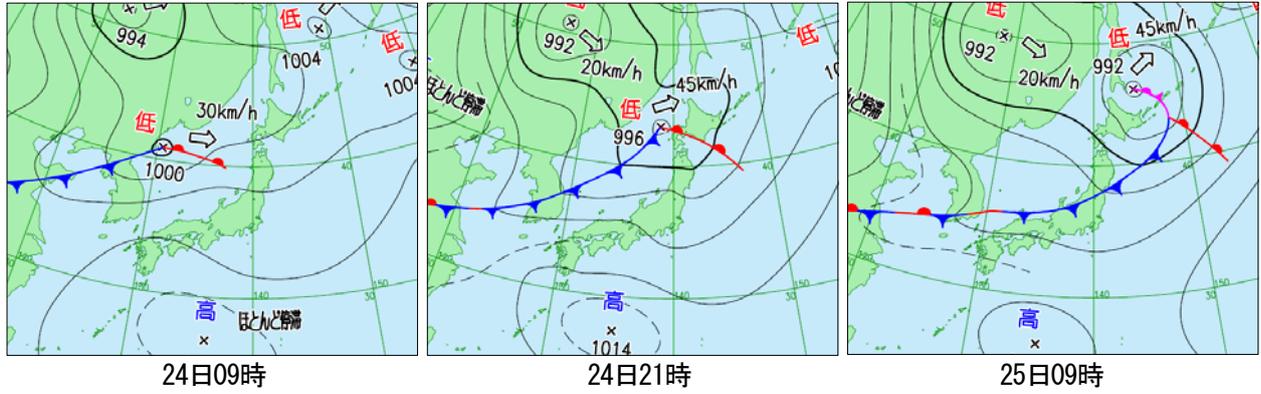
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物	12,976 水稻78.1ha、小麦14.0ha、大豆等 豆類・雑穀108.3ha、さといも等 野菜1.6ha	花巻市、奥州市、平泉町等6市町
	農地・農業 用施設	253,000 農地78箇所、水路等131箇所	盛岡市、滝沢市、雫石町等11市町
林業	林業施設	32,575 林道29箇所	盛岡市、滝沢市、西和賀町等6市町
計		298,551	6市6町

8 8月24日から25日の大雨災害

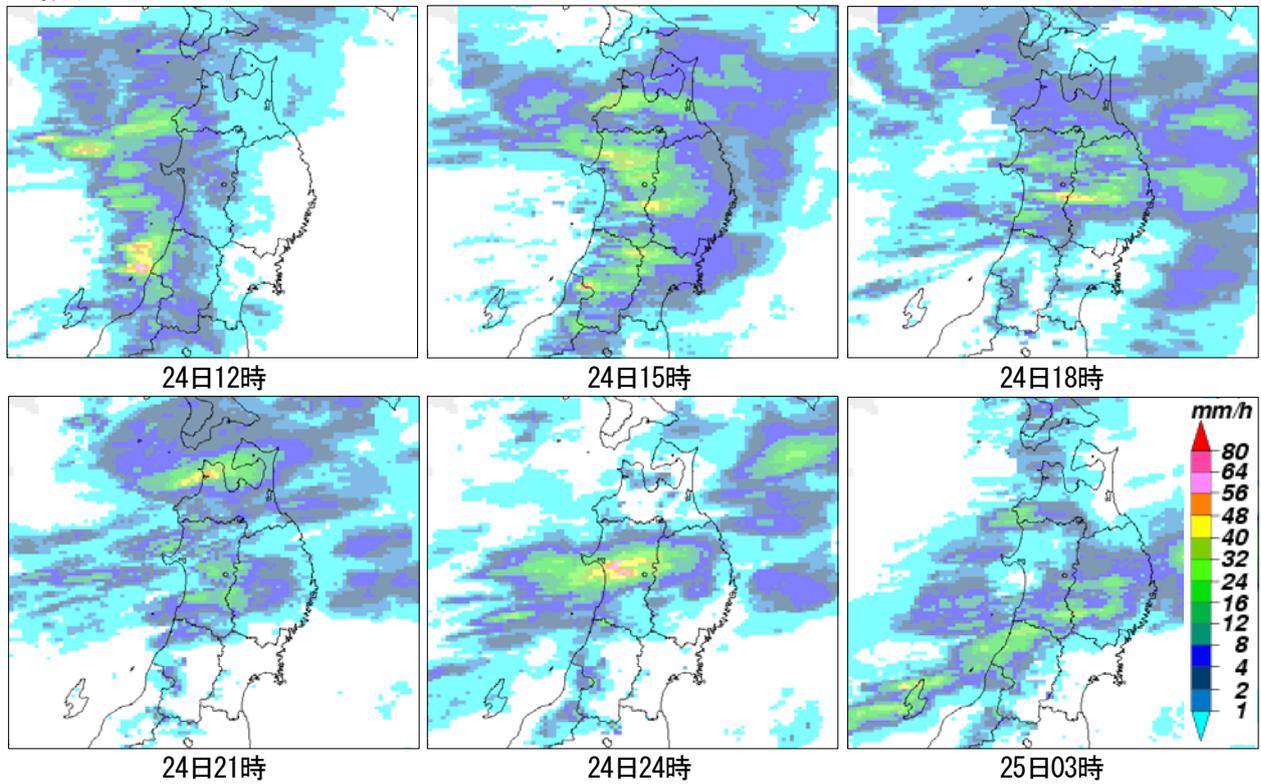
(1) 気象概況

24日、日本海中部にある低気圧が北東に進み、そこからのびる寒冷前線が25日朝にかけて東北地方を通過した。このため、県内は内陸を中心に大雨となった。

○速報天気図



○解析雨量



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(24日～25日)

種別	地域
大雨(土砂災害)	盛岡地域、花北地域、宮古市、久慈市、遠野市、二戸市、岩泉町、一戸町
大雨(浸水害)	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、矢巾町、西和賀町
洪水	盛岡地域、花北地域、宮古市、二戸市、岩泉町、九戸村、一戸町
強風	岩手県
高潮	久慈地域、宮古市、山田町
大雨	盛岡地域、二戸地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、宮古地域、久慈市、遠野市、一関市、普代村
洪水	内陸、宮古市、久慈市、岩泉町
雷	岩手県
濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(24日～25日)

発表日時分	号数	市町村
24日16時40分	第1号	雫石町
24日17時40分	第2号	盛岡市、宮古市、雫石町、岩泉町
24日18時20分	第3号	盛岡市、宮古市、花巻市、雫石町、紫波町、西和賀町、岩泉町
24日22時18分	第4号	盛岡市、宮古市、花巻市、二戸市、雫石町、紫波町、西和賀町、岩泉町
24日23時10分	第5号	盛岡市、宮古市、花巻市、二戸市、八幡平市、雫石町、紫波町、西和賀町、岩泉町
25日00時10分	第6号	盛岡市、宮古市、花巻市、二戸市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、西和賀町、岩泉町
25日00時40分	第7号	盛岡市、宮古市、花巻市、二戸市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、岩泉町
25日01時40分	第8号	盛岡市、宮古市、花巻市、遠野市、二戸市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、岩泉町
25日05時10分	第9号	盛岡市、宮古市、花巻市、遠野市、八幡平市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、西和賀町、岩泉町
25日05時35分	第10号	盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、遠野市、八幡平市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、西和賀町、岩泉町
25日06時25分	第11号	花巻市、北上市、雫石町、紫波町、西和賀町
25日07時35分	第12号	解除

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(24日～25日)

発表日時分	号数	地域
24日17時23分	第1号	内陸
25日04時16分	第1号	内陸
25日05時16分	第2号	内陸

○岩手県気象情報の発表状況(24日～25日)

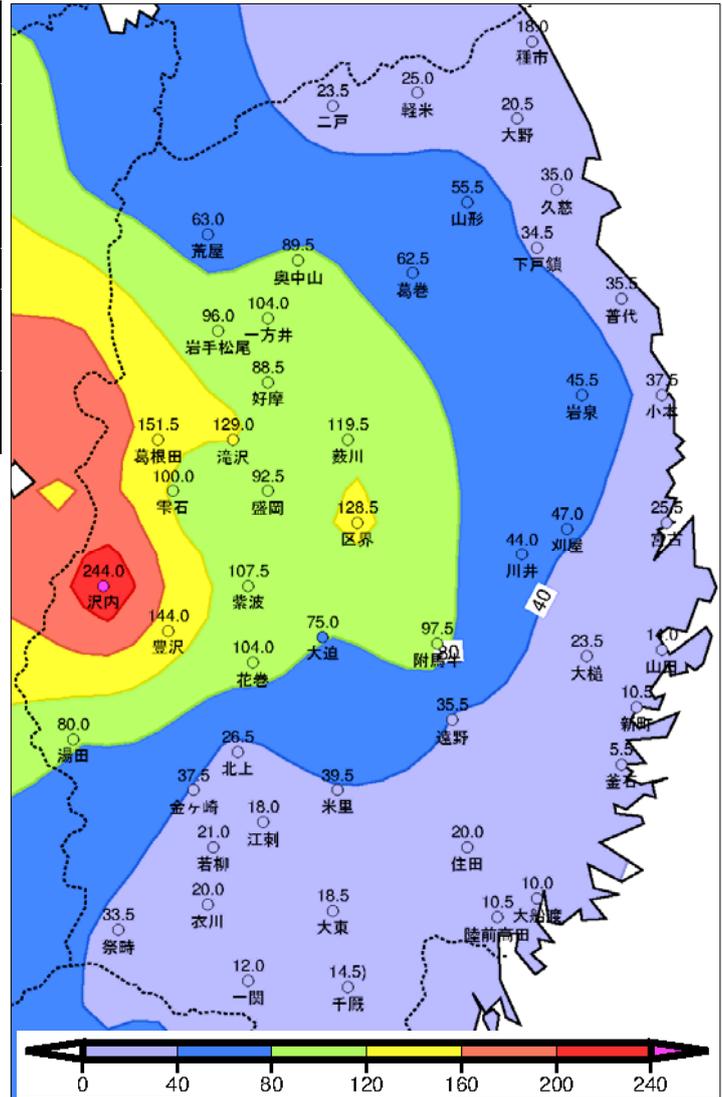
発表日時分	標題
24日06時28分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第1号
24日11時37分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第2号
24日16時42分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第3号
25日04時30分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第4号
25日06時33分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第5号
25日12時06分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第6号

○主な地点の降水量(mm) (24日~25日)

地点名	最大1時間(起時)	期間合計
一方井	22.5(24日16時29分)	104.0
葛根田	29.5(25日01時05分)	151.5
滝沢	29.0(25日01時29分)	129.0
藪川	34.0(25日01時46分)	119.5
雫石	17.0(24日16時30分)	100.0
区界	34.0(25日02時18分)	128.5
沢内	55.0(24日17時45分)	244.0
紫波	34.5(24日17時56分)	107.5
豊沢	31.0(24日15時05分)	144.0
花巻	29.5(24日15時28分)	104.0

○期間合計降水量分布図(mm) (24日~25日)

):準正常値



(2) 被害状況

(単位:千円)

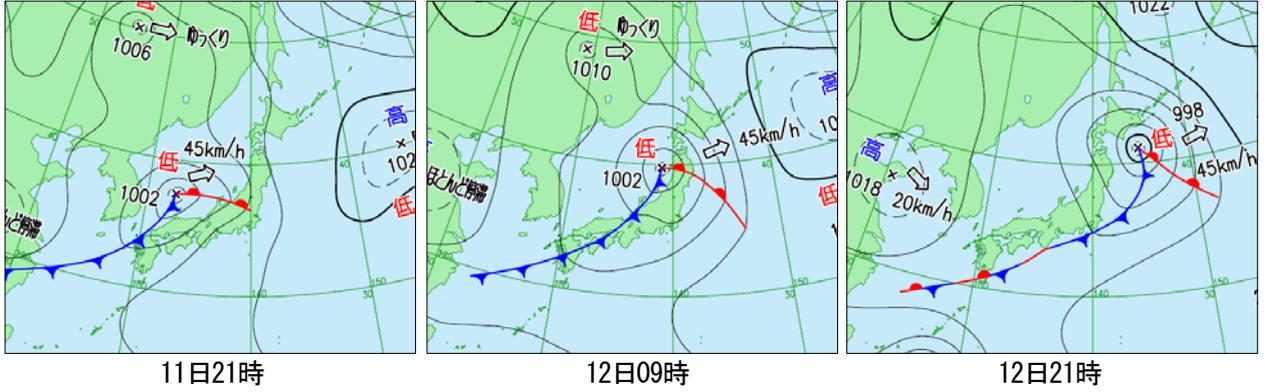
区分	被害額	被害状況	被害地域	
農業	農作物	24,931	水稲80.2ha、大豆等豆類・雑穀101.7ha、ねぎ等野菜3.3ha、りんご4.2ha、りんどう0.4ha、牧草4.1ha	花巻市、奥州市、平泉町等8市町
	農地・農業用施設	114,000	農地57箇所、水路等36箇所	盛岡市、紫波町、雫石町等8市町
林業	林業施設	26,100	林道87箇所	滝沢市、盛岡市等5市町
計		165,031		7市6町

9 9月11日から12日の大雨災害

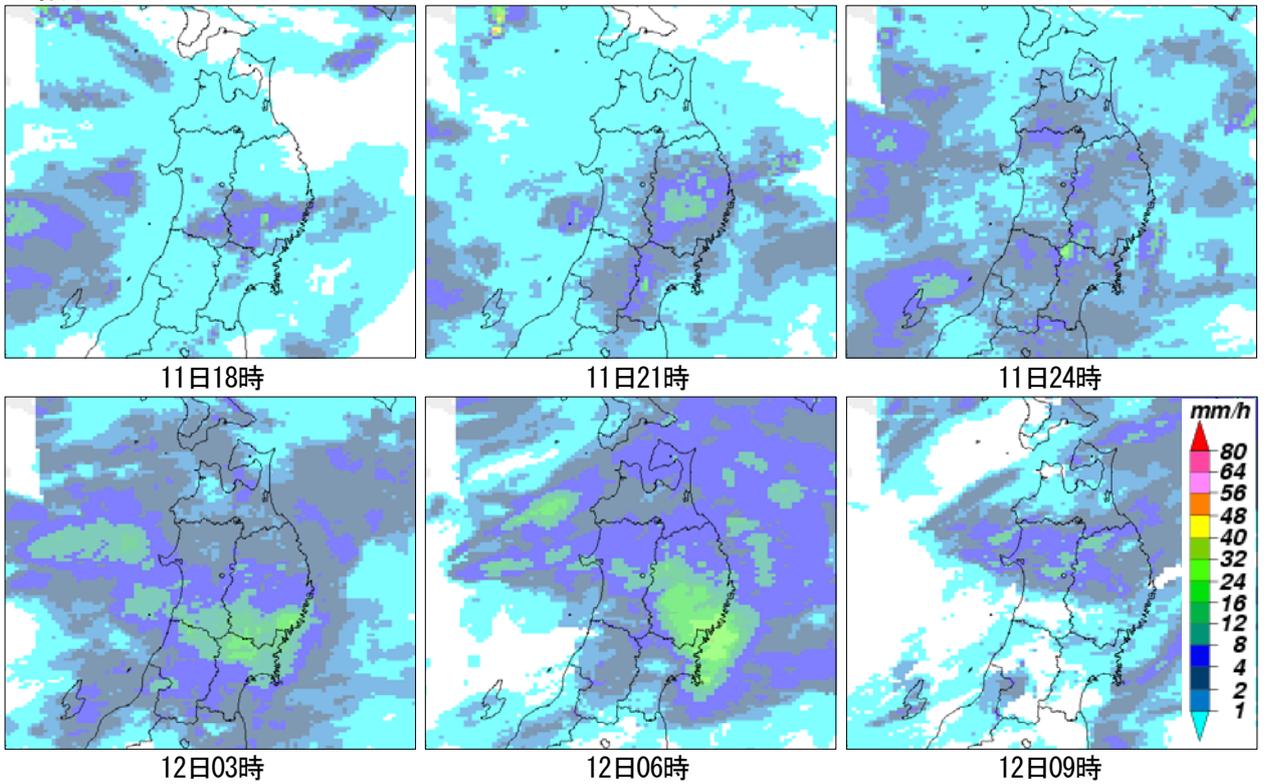
(1) 気象概況

12日、前線を伴う低気圧が日本海中部にあって東北東に進み、東北北部を通過した。このため、内陸や沿岸南部では11日から12日にかけて大雨となった。

○速報天気図



○解析雨量



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(11日~12日)

種別	地域
大雨(土砂災害)	宮古市、大船渡市、花巻市、遠野市、一関市、奥州市、住田町、岩泉町
大雨(浸水害)	大船渡市、陸前高田市、釜石市
洪水	釜石地域、大船渡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、陸前高田市、奥州市
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
高潮	宮古市、山田町
大雨	沿岸南部、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、宮古市、花巻市、北上市、遠野市、二戸市、山田町、岩泉町、一戸町
洪水	沿岸南部、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、宮古市、花巻市、北上市、遠野市、山田町、岩泉町
雷	岩手県
濃霧	岩手県

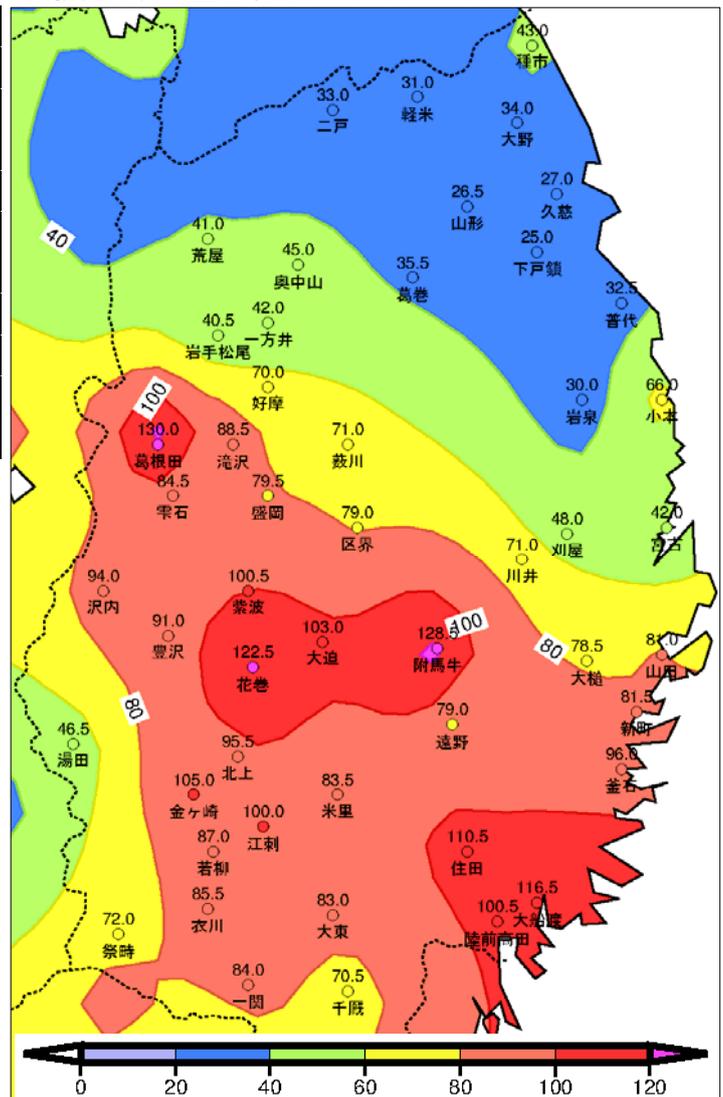
○岩手県気象情報の発表状況(11日~12日)

発表日時分	標題
11日16時51分	大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第1号
12日06時27分	大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第2号
12日12時29分	大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第3号

○主な地点の降水量(mm)(11日~12日)

地点名	最大1時間(起時)	期間合計
葛根田	13.0(12日06時21分)	130.0
紫波	18.5(12日06時23分)	100.5
花巻	22.0(12日05時43分)	122.5
大迫	18.0(12日04時19分)	103.0
附馬牛	18.0(12日06時17分)	128.5
金ヶ崎	18.5(12日05時04分)	105.0
江刺	18.5(12日05時57分)	100.0
住田	22.5(12日03時02分)	110.5
陸前高田	22.0(12日01時23分)	100.5
大船渡	24.0(12日03時44分)	116.5

○期間合計降水量分布図(mm)(11日~12日)



(2) 被害状況

(単位：千円)

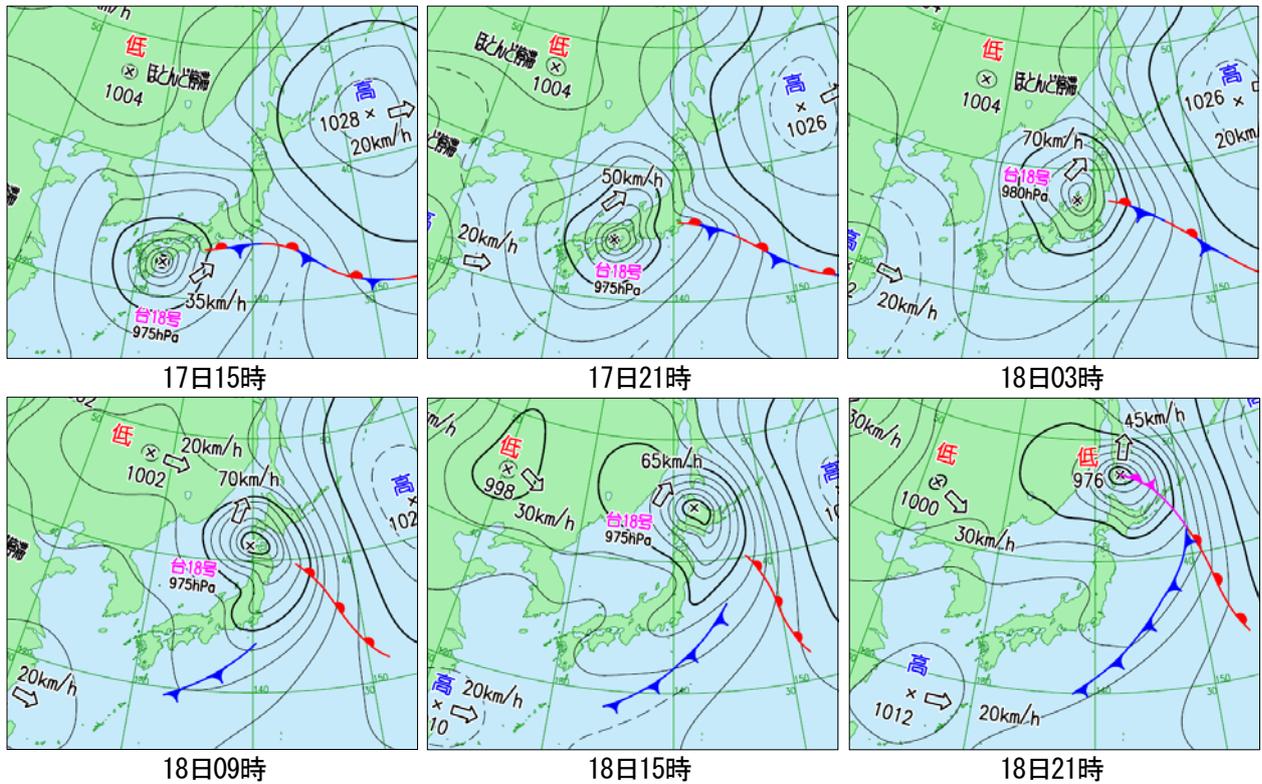
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	69,000	農地39箇所、水路等57箇所	一関市、奥州市、金ヶ崎町等7市町
林業	林業施設	5,263	林道7箇所、治山施設8箇所	花巻市、一関市
計		74,263		4市3町

10 9月17日から18日の台風第18号災害

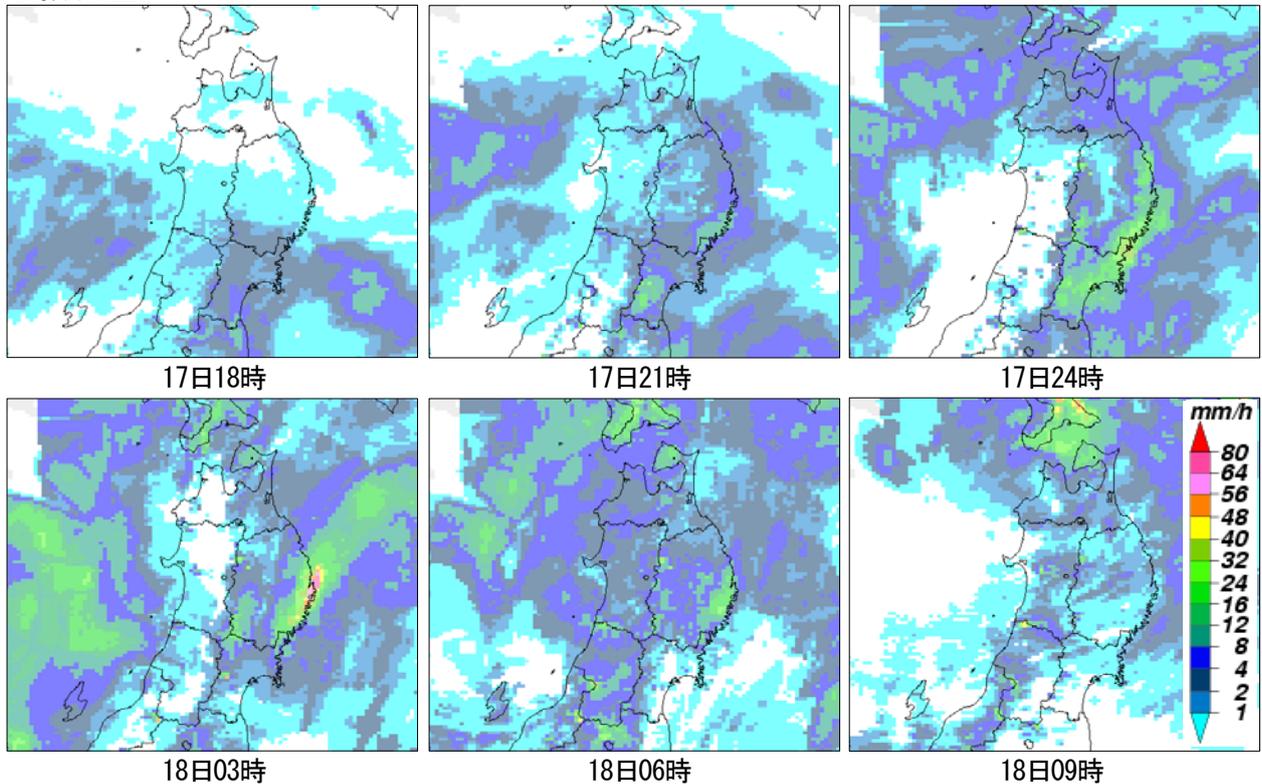
(1) 気象概況

17日、台風第18号が屋久島付近から西日本を北東に進み、18日は日本海沿岸を北北東に進んで北海道を通過した。このため、県内は沿岸を中心に大雨となったほか、広い範囲で風が強まった。

○速報天気図



○解析雨量



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(17日～18日)

種別	地域
暴風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨(土砂災害)	宮古地域、釜石地域、大船渡地域、遠野市、一関市、八幡平市、普代村
大雨(浸水害)	宮古地域、釜石地域
洪水	釜石地域、宮古市、大船渡市、遠野市、陸前高田市、八幡平市、山田町
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
高潮	宮古市、山田町
大雨	沿岸北部、沿岸南部、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市、二戸市
洪水	花北地域、奥州金ヶ崎地域、久慈地域、宮古地域、釜石地域、大船渡地域、盛岡市、遠野市、一関市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町
雷	岩手県
濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(17日～18日)

発表日時分	号数	市町村
18日00時45分	第1号	宮古市、釜石市、大槌町、山田町
18日01時45分	第2号	宮古市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町
18日01時40分	第3号	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町
18日02時10分	第4号	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町
18日03時40分	第5号	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町
18日09時25分	第6号	釜石市、大槌町
18日11時20分	第7号	解除

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(17日～18日)

発表日時分	号数	地域
18日04時51分	第1号	内陸
18日07時19分	第2号	内陸

○岩手県気象情報の発表状況(15日～18日)

発表日時分	標題
15日16時48分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第1号
16日17時29分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第2号
17日06時46分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第3号
17日17時00分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第4号
17日17時16分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第5号
18日02時35分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第6号
18日06時40分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第7号
18日12時25分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第8号
18日17時36分	平成29年 台風第18号に関する岩手県気象情報 第9号

(2) 被害状況

(単位:千円)

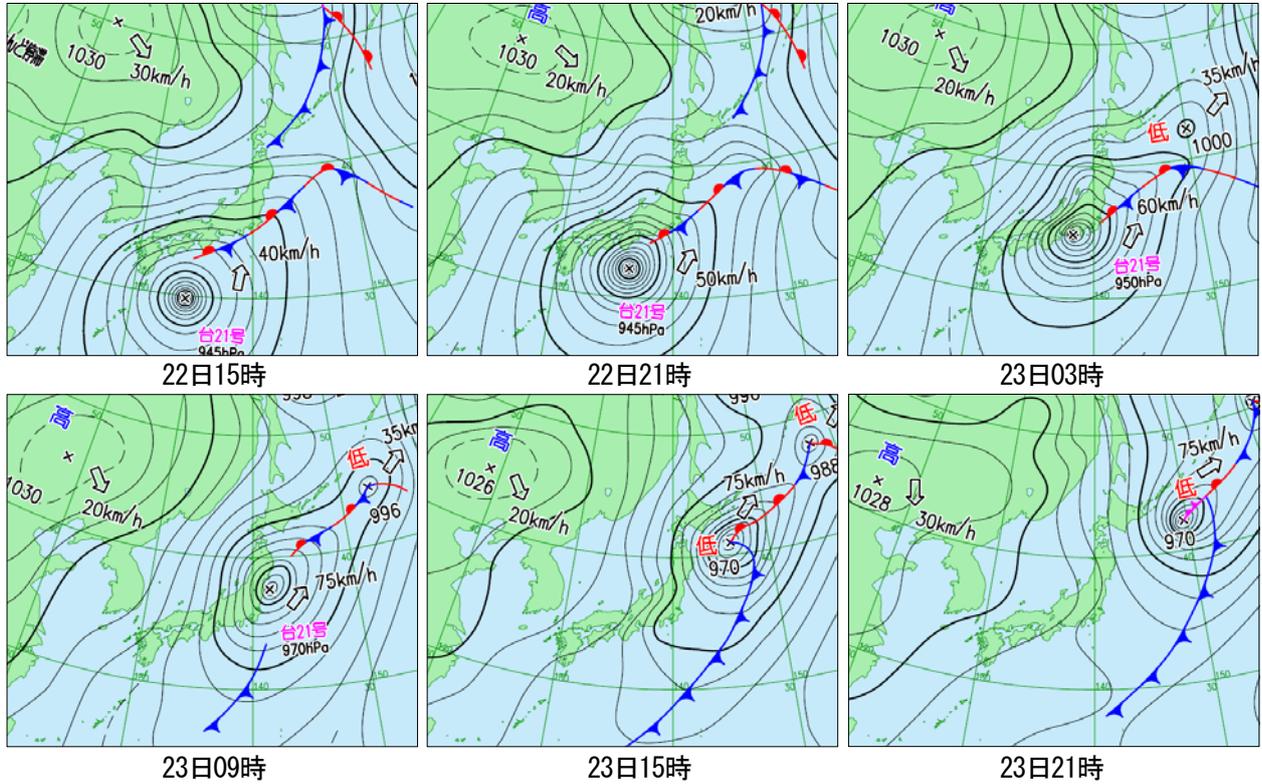
区分	被害額	被害状況	被害地域	
農 業	農業施設	37,995	パイプハウス・牛舎等502棟	花巻市、久慈市、矢巾町等33市町村
	農作物	595,337	水稻51.2ha、大豆50.0ha、きゅうり等野菜37.6ha、りんご等果樹569.4ha、小菊等花き4.1ha、牧草等飼料作物280.1ha	花巻市、北上市、金ヶ崎町等32市町村
	家畜等	164	生乳1.5t	久慈市、山田町
	農地・農業用施設	28,000	農地12箇所、水路等20箇所	釜石市、陸前高田市、山田町等4市町村
林 業	林業施設	87,880	林道49箇所、作業道2箇所	釜石市、山田町、大槌町等6市町村
	林産物	450	菌床ブロック2.7t	釜石市
	森林・林地荒廃	54,000	林地荒廃4箇所	釜石市、大槌町
水産業	水産施設	4,313	水産関係施設等8件	陸前高田市、釜石市、野田村等5市町村
	漁船	900	漁船6隻	大船渡市、陸前高田市、大槌町等4市町
	漁具	36,789	定置網等17件	久慈市、大船渡市、陸前高田市等17市町
	養殖施設	60	養殖棚2件	大槌町、山田町
	水産物	1,200	ほたてがい2t	大槌町
	漁港	31,670	漁港等35箇所	大船渡市、釜石市、陸前高田市等9市町村
計	878,758		14市12町4村	

11 10月22日から23日の台風第21号災害

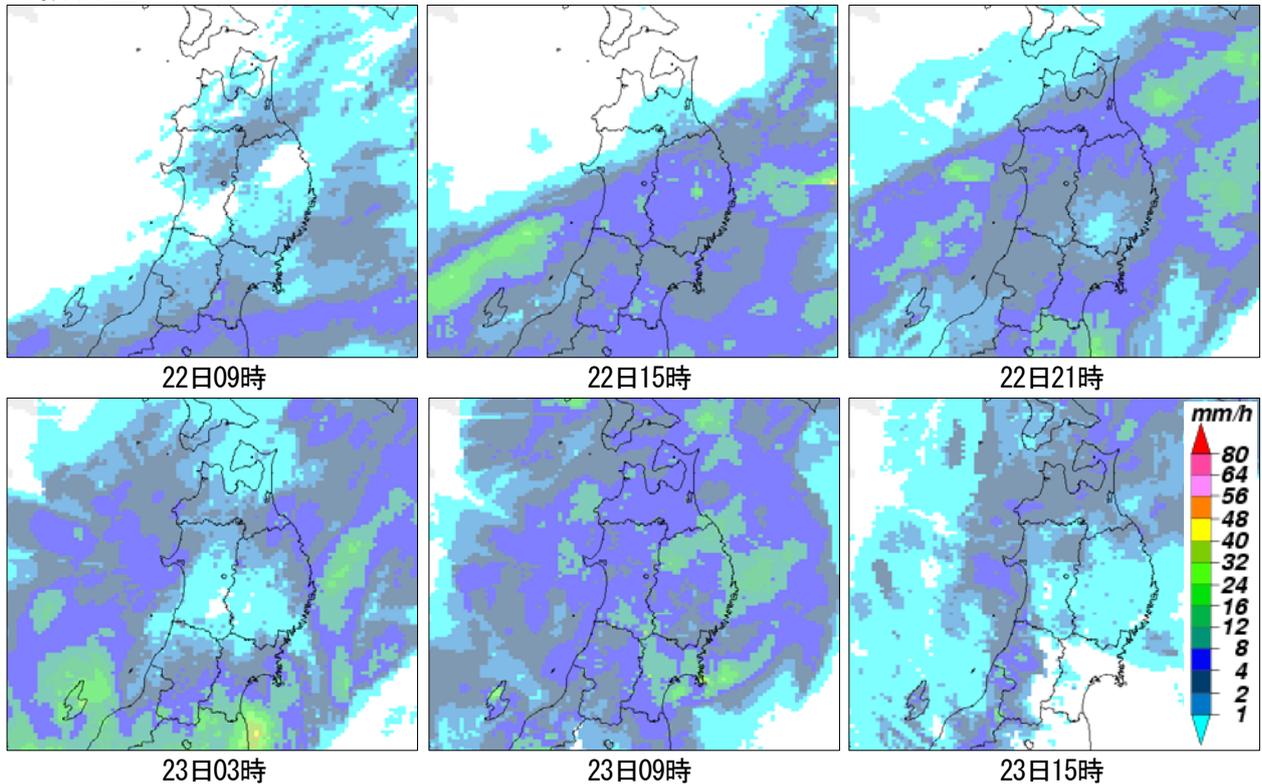
(1) 気象概況

日本の南を北上した台風第21号が23日03時頃に静岡県掛川市付近に上陸し、関東地方を通過して08時頃に茨城県沖に進み、09時に福島県沖で温帯低気圧に変わった。このため、県内は22日から23日にかけて大雨や暴風となった。

○速報天気図



○解析雨量



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(22日～23日)

種別	地域
暴風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
高潮	釜石地域、宮古市、大船渡市、陸前高田市、山田町
大雨(土砂災害)	沿岸北部、二戸地域、両磐地域、釜石地域、盛岡市、大船渡市、花巻市、陸前高田市、八幡平市、奥州市、滝沢市、葛巻町、岩手町、紫波町
大雨(浸水害)	釜石地域、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、一関市、陸前高田市、八幡平市、奥州市、矢巾町、山田町
洪水	二戸地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、釜石地域、盛岡市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、八幡平市、滝沢市、葛巻町、岩手町、岩泉町、洋野町
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨	岩手県
洪水	岩手県
雷	岩手県
濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(22日～23日)

発表日時分	号数	市町村
23日06時40分	第1号	一関市
23日07時05分	第2号	一関市、山田町
23日09時10分	第3号	山田町
23日11時10分	第4号	解除

○岩手県気象情報の発表状況(20日～23日)

発表日時分	標題
20日16時50分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第1号
21日17時27分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第2号
22日06時40分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第3号
22日11時35分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第4号
22日11時40分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第5号
22日16時54分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第6号
22日17時29分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第7号
22日23時56分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第8号
23日06時21分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第9号
23日11時56分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第10号
23日17時00分	平成29年 台風第21号に関する岩手県気象情報 第11号
23日23時44分	大雨と高波に関する岩手県気象情報 第1号

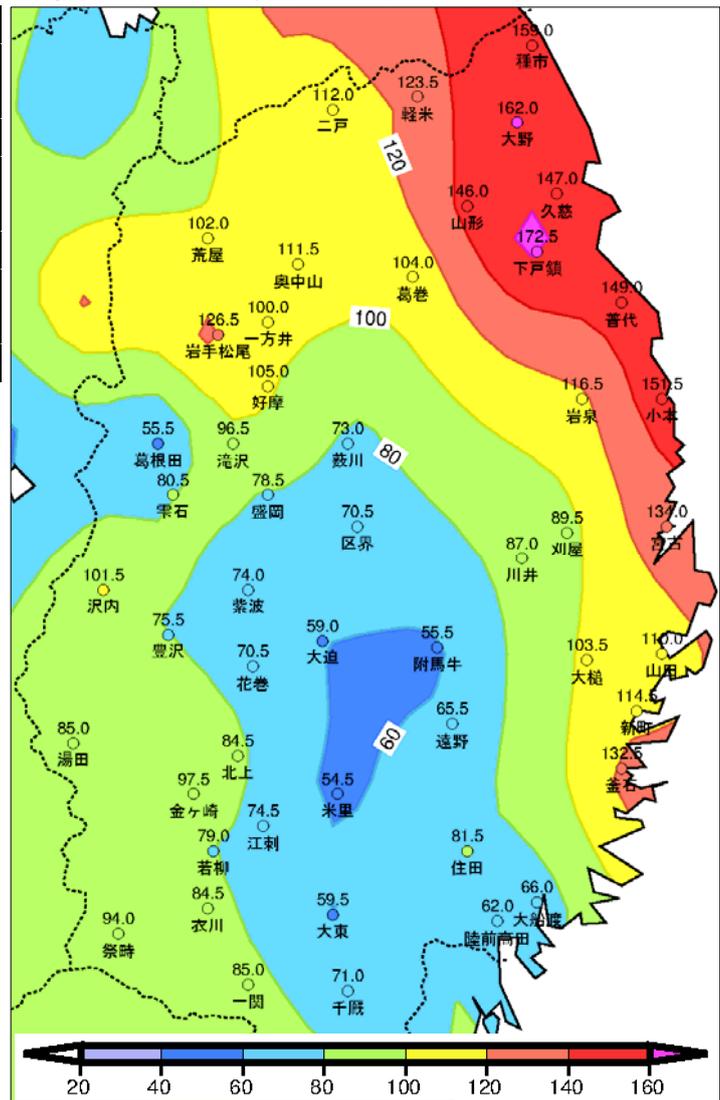
○主な地点の風速(m/s) (22日~23日)

地点名	最大(風向 起時)	最大瞬間(風向 起時)
蕨川	11.3(東北東 23日07時19分)	23.7(東北東 23日04時46分)
宮古	11.3(北 23日11時38分)	23.8(北北東 23日11時38分)
沢内	11.9(北北東 23日07時41分)	23.5(北東 23日08時56分)
紫波	15.2(北北西 23日11時28分)	22.3(北北西 23日04時34分)
花巻	15.5(北 23日04時04分)	21.6(北 23日09時01分)
新町	14.5(北北西 23日10時39分)	31.6(北西 23日10時33分)
陸前高田	11.0(北北東 23日04時03分)	23.8(東 23日04時22分)
大船渡	18.4(北北東 23日05時14分)	30.3(北北東 23日05時09分)

○主な地点の降水量(mm) (22日~23日)

地点名	最大1時間(起時)	期間合計
種市	11.0(23日09時50分)	159.0
大野	12.5(23日07時03分)	162.0
山形	10.5(23日09時24分)	146.0
久慈	13.5(23日07時53分)	147.0
下戸鎖	15.5(23日07時43分)	172.5
普代	16.0(23日07時17分)	149.0
小本	16.5(23日06時29分)	151.5
宮古	14.0(23日06時21分)	134.0
釜石	17.5(23日08時30分)	132.5

○期間合計降水量分布図(mm) (22日~23日)



(2) 被害状況

(単位:千円)

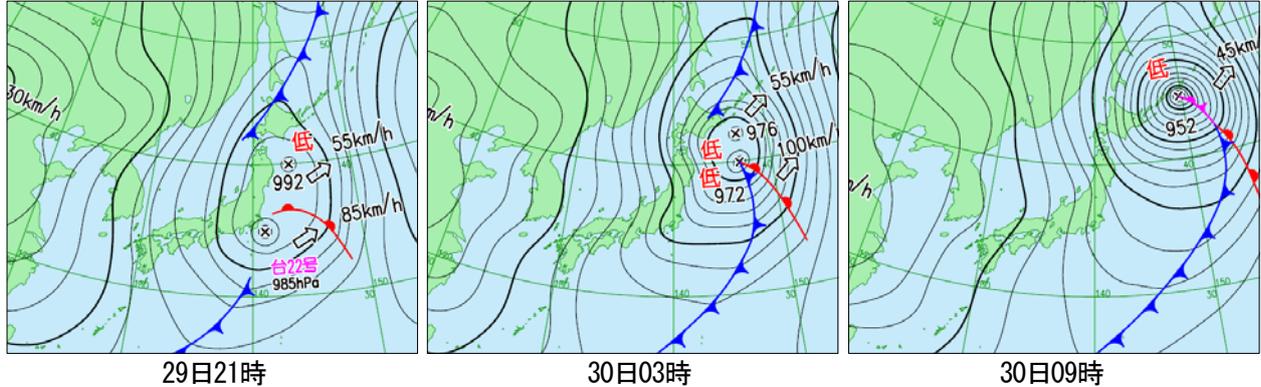
区分	被害額	被害状況	被害地域	
農 業	農業施設	118,591	パイプハウス100棟	陸前高田市、奥州市、雫石町等10市町
	農作物	47,707	水稲6.0ha、小麦7.0ha、大豆6.2ha、ねぎ等野菜5.0ha、りんご122.3ha、小菊等花き0.2ha、デントコーン3.6ha	陸前高田市、滝沢市、矢巾町等10市町
	農地・農業用施設	71,000	農地19箇所、水路等14箇所	二戸市、軽米町、九戸村等5市町村
林 業	林業施設	198,833	林道64箇所、作業道3箇所	久慈市、奥州市、九戸村等7市町村
水産業	水産施設	300	水産関係施設等1件	大船渡市
	漁船	6,018	漁船15隻	大船渡市、山田町、田野畑村等4市町村
	漁具	267,030	定置網等28件	宮古市、久慈市、山田町等8市町村
	養殖施設	783	養殖棚18件	久慈市、大船渡市、田野畑村等5市町村
	水産物	25,339	かき、ほたてがい16.3t	宮古市
	漁港	402,390	漁港等71箇所	宮古市、久慈市、田野畑村等11市町村
計	1,137,991		11市10町4村	

12 10月30日の強風災害

(1) 気象概況

台風第22号から変わった低気圧が急速に発達しながら三陸沖を北東に進み、日本付近は次第に冬型の気圧配置となった。このため、県内は広い範囲で西よりの風が強まった。

○速報天気図



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(30日)

種別	地域
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨	宮古市、二戸市、山田町、岩泉町、一戸町
雷	内陸
濃霧	岩手県

○主な地点の風速(m/s) (30日)

地点名	最大(風向 起時)	最大瞬間(風向 起時)
盛岡	11.7(北西 02時30分)	25.6(北西 02時22分)
紫波	15.4(北西 02時23分)	26.4(北西 02時20分)
若柳	16.3(西 14時42分)	28.4(西 15時51分)
江刺	15.4(西北西 02時02分)	26.6(北西 01時53分)
住田	11.7(西北西 11時41分)	25.7(西北西 02時48分)
大船渡	15.6(北西 02時59分)	31.4(北北西 02時56分)

(2) 被害状況

(単位:千円)

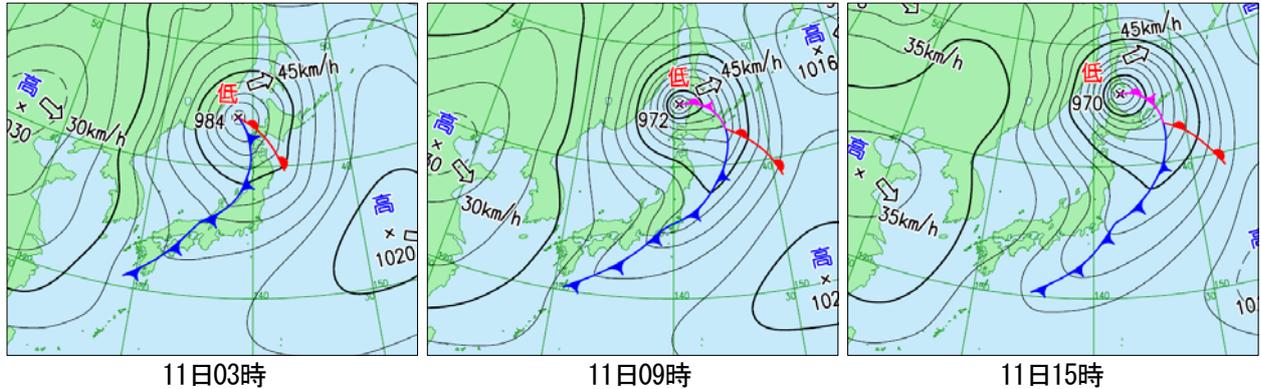
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	1,064	パイプハウス等22棟	花巻市、北上市、金ケ崎町等5市町
	農作物	60,522	ねぎ1.5ha、りんご166.4ha	奥州市、北上市、矢巾町等5市町
計		61,586		4市2町

13 11月11日の強風災害

(1) 気象概況

低気圧が日本海中部にあって急速に発達しながら北東に進み、そこからのびる寒冷前線が日本を通過し、日本付近は次第に冬型の気圧配置となった。このため、県内は広い範囲で西よりの風が強まった。

○速報天気図



○警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(11月11日)

種別	地域
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
乾燥	沿岸北部、沿岸南部

○主な地点の風速(m/s) (11日)

地点名	最大(風向 起時)	最大瞬間(風向 起時)
好摩	10.9(西南西 11時51分)	23.8(西 12時48分)
岩泉	11.5(西南西 09時44分)	28.0(西 09時02分)
小本	10.7(南西 09時54分)	23.1(南南西 09時53分)
盛岡	12.9(西南西 13時27分)	24.1(西南西 12時55分)
紫波	14.9(西 14時12分)	26.4(西北西 13時53分)
遠野	12.5(西 12時37分)	24.0(西北西 14時19分)
新町	10.5(北西 09時35分)	24.4(北西 10時34分)

(2) 被害状況

(単位:千円)

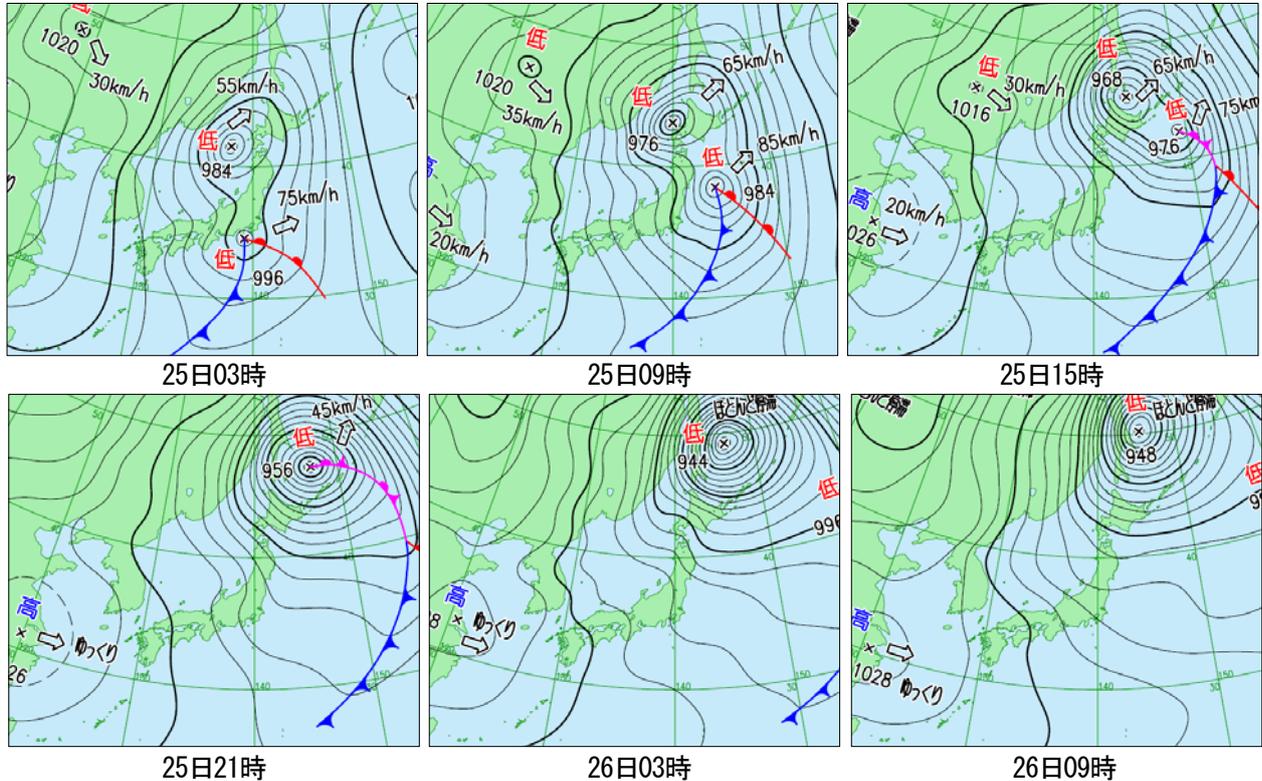
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	1,139	パイプハウス1棟、農作業所1棟	花巻市、雫石町
計	1,139		2市

14 12月25日から26日の強風災害

(1) 気象概況

25日、発達中の低気圧が日本海北部にあって、さらに急速に発達しながら北東に進んだ。また、別の前線を伴う低気圧が東海道沖にあって急速に発達しながら北東に進み、日本付近は次第に強い冬型の気圧配置となり、26日も続いた。このため、県内は25日から26日にかけて広い範囲で西よりの風が強まった。

○速報天気図



○警報(赤)・注意報の発表状況(25日～26日)

種別	地域
暴風雪	沿岸北部、盛岡地域、花北地域、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
暴風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
風雪	岩手県
強風	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雪	盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市
雷	沿岸北部、沿岸南部
濃霧	岩手県
なだれ	盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市
着雪	盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市

○岩手県気象情報の発表状況(23日～26日)

発表日時分	標題
23日16時58分	暴風と高波に関する岩手県気象情報 第1号
24日06時31分	暴風と高波に関する岩手県気象情報 第2号
24日17時04分	暴風と高波に関する岩手県気象情報 第3号
25日06時09分	暴風と高波及び大雪に関する岩手県気象情報 第4号
25日17時15分	暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報 第5号
26日06時31分	暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報 第6号

○主な地点の風速(m/s) (25日～26日)

地点名	最大(風向 起時)	最大瞬間(風向 起時)
岩泉	12.1(西南西 25日16時03分)	25.5(西南西 25日11時07分)
宮古	10.2(西南西 25日18時59分)	25.0(西 25日19時06分)
紫波	18.7(西 25日20時32分)	27.3(西北西 25日20時28分)
川井	12.8(南西 26日01時03分)	30.7(南南西 26日00時54分)
遠野	13.8(西 25日13時52分)	28.5(西南西 25日10時25分)
若柳	17.4(西北西 25日16時37分)	26.2(西 25日16時30分)
江刺	15.9(西北西 25日17時10分)	25.4(西北西 25日16時33分)
大船渡	12.4(北西 25日10時32分)	27.8(北西 25日10時01分)

(2) 被害状況

(単位:千円)

	区分	被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	7,039	パイプハウス等70棟	花巻市、奥州市、山田町等10市町村
	農作物	279	ほうれんそう0.2ha	山田町
	計	7,318		4市5町1村

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 7月22日から23日の大雨災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

また、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

(2) 農地・農業用施設被害

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（以下「暫定法」）に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し22箇所144,065千円の採択を申請した。

国による災害査定は、10月16日から12月1日にかけて実施され、22箇所122,359千円が採択された。

(3) 林業被害

被災した林業施設（林道）について、管理者である市町村が単独事業により自力復旧を計画。市町村に対して、事業の円滑な実施に向けた復旧計画の立案や技術的な助言を行った。

2 9月17日から18日の台風第18号災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる農作物等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

(2) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

(3) 林業施設被害

ア 林業施設被害

被災した林業施設（林道）について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し5箇所27,531千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月18日から21日にかけて実施され、5箇所23,060千円が採択された。

(4) 水産関係被害

漁船や施設の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんする共済金が支払われた。

3 10月22日から23日の台風第21号災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる農作物等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

(2) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

(3) 農地・農業用施設被害

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（以下「暫定法」）に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し2箇所26,598千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月11日から12日にかけて実施され、2箇所24,395千円が採択された。

(4) 林業関係被害

被災した林業施設（林道）について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し10箇所68,060千円の採択を申請した。

国による災害査定は、10月19日から11月1日にかけて実施され、10箇所58,956千円が採択された。

(5) 水産関係被害

漁船や施設の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんする共済金が支払われた。

(6) 漁港関係被害

漁港施設について、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」）の採択基準を満たす被害があり、国に対し2箇所60,983千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月4日から6日にかけて実施され、2箇所56,645千円が採択された。

V 参考資料

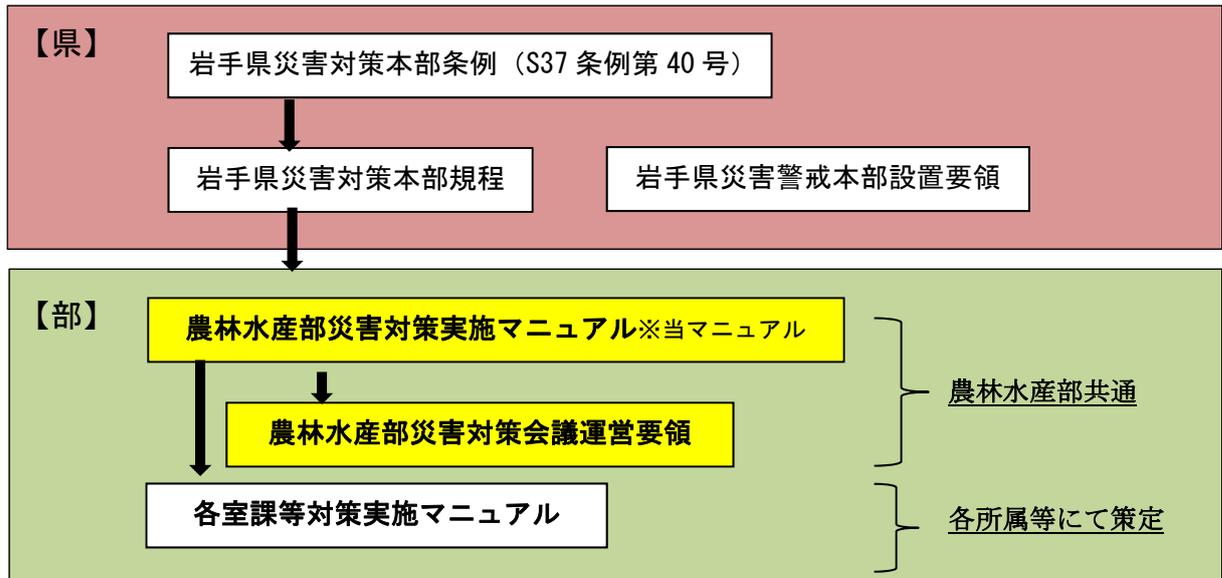
農林水産部災害対策実施マニュアル

制 定 平成 15 年 5 月 1 日
最終改定 平成 27 年 4 月 28 日

このマニュアルは、『岩手県災害対策本部規程（平成 8 年岩手県災害対策本部長訓令第 2 号）』第 9 条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合（以下「災害発生時」という。）において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』、『岩手県災害特別警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行われる。

また、岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、『岩手県災害警戒本部設置要領』別表又は『岩手県災害対策本部規程』別表第 5 に定める所管区域ごとに、関係する所管区域に地方支部が設置される。

なお、岩手県災害対策本部が設置された場合は、広域振興局に広域支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 「農林水産部災害対策実施マニュアル」

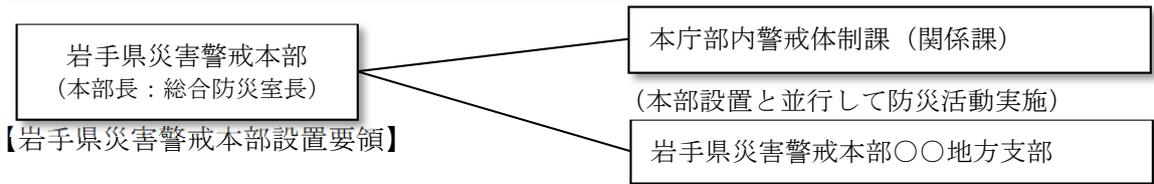
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法等を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置

主な設置基準

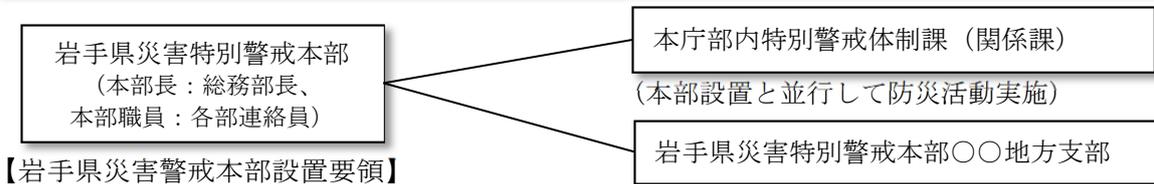
- 気象警報又は洪水警報などが発表された場合
- 北上川上流、雫石川、猿ヶ石川洪水予報のうち洪水警報（はん濫警戒情報・はん濫危険情報・はん濫発生情報）が発表された場合
- 大規模な火災、爆発等が発生した場合で、総合防災室長が必要と認めたとき
- 県内に震度4又は震度5弱の地震が発生した場合
- 原子力事業者から原子力災害対策指針に示された警戒事態に該当する事象等の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害特別警戒本部の設置

主な設置基準

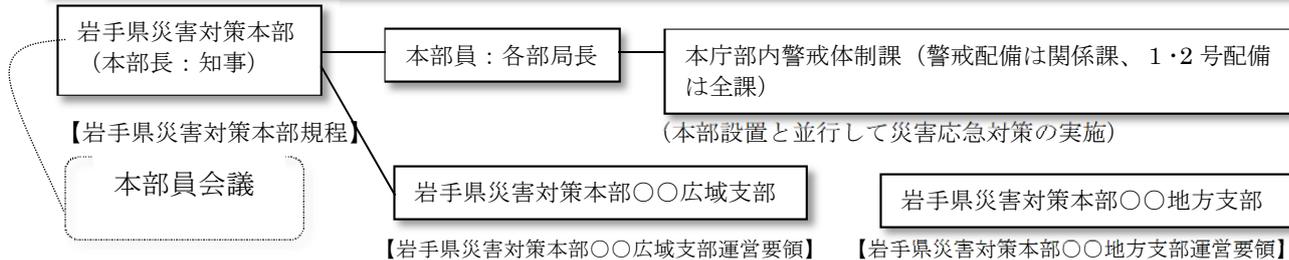
- 災害警戒本部の設置基準において、総務部長が応急措置の実施のため関係機関との調整が必要と判断したとき
- 津波注意報が発表された場合
- 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報レベル3が発表された場合
- 原子力事業者から特定事象に関する通報があった場合
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事故の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害対策本部の設置

主な設置基準

- 相当規模の災害の発生のおそれがある場合
- 相当規模の災害が発生した場合
- 津波警報が発表された場合
- 県内に震度5強以上の地震が発生した場合
- 岩手山等の噴火警戒レベル4が発表された場合
- 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき



Ⅲ 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第 27 条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①指定職員配備（1号）、②主査以上配備（2号）、③全職員配備（3号）となっている。

また、気象予報・警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒態勢をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は、次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課（「V 分掌事務等」に掲げる本庁各室課）の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示より執務する。
- (3) 広域振興局農林水産担当部等（「V 分掌事務等」に掲げる広域振興局農林水産担当部等。以下同じ。）の職員は各地方支部長の指示を受けた所属長に指示により、出先機関（「V 分掌事務等」に掲げる出先機関。以下同じ。）の職員は所属長の指示により、それぞれ執務する。

指定職員配備体制

区 分	説 明
配備基準	<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (カ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 次に掲げる警報のいずれかが発表された場合</p> <p>(ア) 気象特別警報 (イ) 高潮特別警報 (ウ) 波浪特別警報</p> <p>3 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 津波警報が発表されたとき</p> <p>5 県内に震度5強の地震が発生したとき</p> <p>6 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル4が発表された場合</p> <p>7 八幡平又は栗駒山に噴火警報（居住地域）又は噴火警報が発表された場合</p> <p>8 原子力事業者（原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号。以下「原災法」という。）第2条第3号に規定する原子力事業者のうち本県に隣接する県の区域に同条第4号に規定する原子力事業所を設置するものをいう。以下同じ。）から原子力緊急事態（原災法第2条第2号に規定する原子力緊急事態をいう。以下同じ。）の発生に関する通報があり、かつ、当該原子力緊急事態の影響が本県の区域</p>

		<p>に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策（原災法第2条第5号の規定する緊急事態応急対策をいう。以下同じ。）を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>9 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故（原災法第2条第2号に規定する事業所外運搬に係る事故をいう。以下同じ。）による特定事象（原災法第10条第1項に規定する事象のことをいう。以下同じ。）又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、当該特定事象又は当該原子力緊急事態の影響が本県の区域に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>10 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>	
本 庁	活動要領	部長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。</p> <p>(1) 災害対策本部員会議への付議</p> <p>(2) その他必要と認める事項の処理</p> <p>2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。</p> <p>3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。</p> <p>4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。</p>
		各室課の長	<p>(農林水産企画室長処理事項)</p> <p>本庁関係課、広域振興局農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。</p> <p>(各室課の長共通処理事項)</p> <p>1 マニュアルに従い、広域振興局農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。</p> <p>2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。</p>
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課及び漁港漁村課の長並びに部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当及び各課の長があらかじめ指名する職員	
産 担 当 部 等	活動要領	長 水産担当部長 広域振興局農林水産担当部長等	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課及び農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。</p>
	配備職員	広域振興局農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員	
出 先 機 関	活動要領	出先機関の長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。</p>
	配備職員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員	

主 査 以 上 配 備 体 制

区 分		説 明
配備基準		<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が、主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 気象特別警報 (カ) 高潮特別警報 (キ) 波浪特別警報 (ク) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (ケ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>3 津波警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 県内に震度6弱の地震が発生したとき</p> <p>5 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル5が発表された場合</p> <p>6 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、原子力緊急事態宣言（原災法第15条第2項に規定する原子力緊急事態宣言をいう。以下同じ。）に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県に隣接する県の区域が含まれる場合において、本部長が主査以上配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>7 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>
本 庁	活動要領	部長 指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
		長 各室課の (農林水産企画室長処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。
	配備職員 すべての室課の主査相当職以上の職員及び各室課の長があらかじめ指名する職員	
担 当 部 等 広 域 振 興 局 農 林 水 産	活動要領	長 水産 広域振興局農林 指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員 すべての所属の主査相当職以上の職員及び広域振興局農林水産担当部等の長があらかじめ指名する職員	

出先機関	活動要領	出先機関の長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員		すべての出先機関の主査相当職以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

全職員配備体制

区分		説明
配備基準		1 大規模な災害が発生した場合において、本部長が本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。 2 津波警報（大津波）が発表された場合 3 県内に震度6強又は震度7の地震が発生した場合 4 原子力緊急事態宣言がなされた場合において当該原子力緊急事態宣言に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県の区域が含まれる場合又は本県の区域が含まれることが想定される時。 5 その他本部長が特に必要と認めた場合
本庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
等産局広 担農域 当農振 部林興 部水興	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
関出 先機	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員

【備考】出先機関の配備体制は、次のとおりとする。

- 1 当該機関の周辺区域において上記の配備基準に該当する災害が発生した場合等に、各配備体制をとるものとする。
- 2 農林水産企画室長からの配備指令があるまでの間の配備体制について、各機関で作成した行動マニュアルに上記と異なる規定をした場合は、それによることができる。

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

本部員連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令伝達、各部門・部内の連絡調整及び情報収集の事務を担当する。

4 緊急初動要員（県災害対策本部規程第28条の2）

本部（及び地方支部）に、緊急初動要員を置き、本部にあつては農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

緊急初動要員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害応急対策に係る情報収集・指示、本部支援室・地方支部・関係機関との連絡調整等に関する事務を行う。

5 災害対策本部支援室、調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第 23 条、第 25 条）

岩手県災害対策本部に本部支援室が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、支援室各班の業務への従事を命ぜられることがある。また、調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

本部支援室班員は総務部長が、調査班員は本部支援室長が、それぞれ農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第 26 条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認められるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 35 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 29 条）

① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。

【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、副部長、各担当技監及び本部連絡員にも伝えられる。】

② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

③ 広域振興局農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。

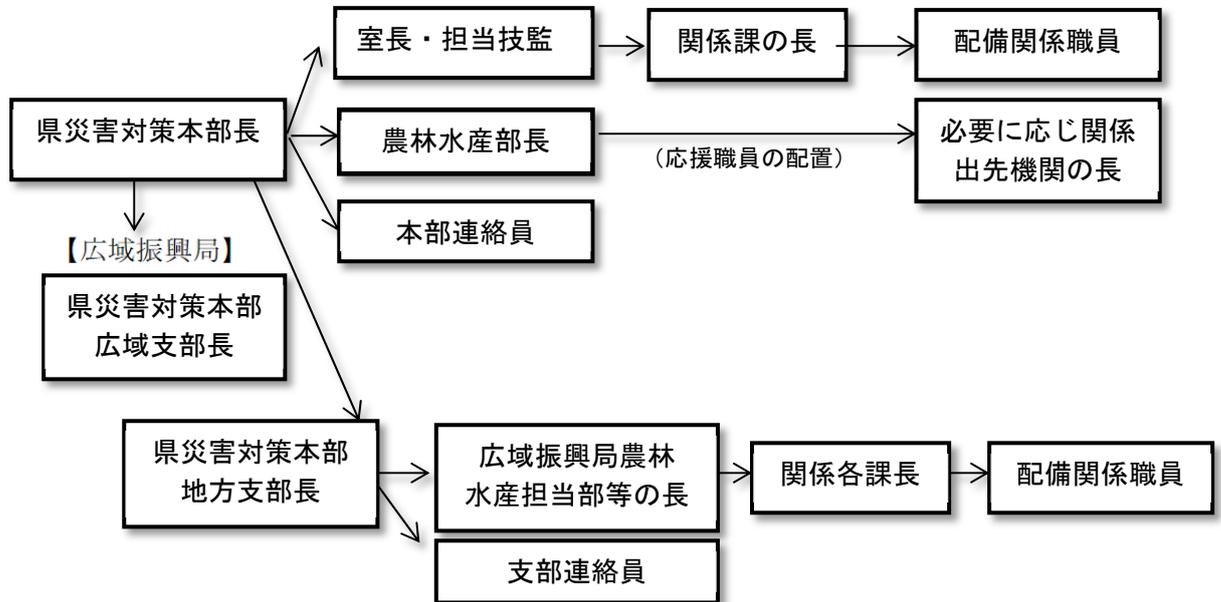
⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に

連絡する。

⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

《非常招集体系図》

【本庁・出先機関】



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 30 条）

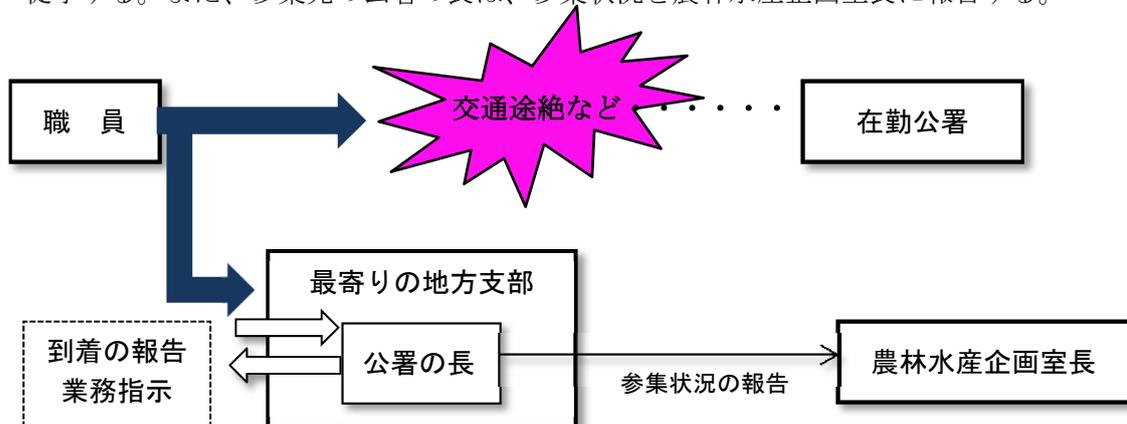
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である。】

2 在勤公署に参集できない場合の対応（県災害対策本部規程第 31 条）

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集することができる。

この場合、参集先の公署の長に到着の報告を行うとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。また、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。
- 3 安否不明の職員がある場合、農林水産企画室総務管理担当へその旨報告する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、広域振興局農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は、次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県 災 害 対 策 本 部 規 程 で 定 め る 主 な 担 当 業 務	県 地 域 防 災 計 画 (災 害 応 急 対 策 計 画) で 定 め る 担 当 内 容	そ の 他 の 分 掌 事 務
農 林 水 産 企 画 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 部内各課等の統括に関する事。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関する事。 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項(岩手県知事部局行政組織規則第12条に規定する農林水産部の分課の分掌事務のことをいう。以下同じ。)に係るものに限る。) 4 災害特別警戒本部の対応に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業施設被害情報の収集 ・ 農作物等被害情報の収集 ・ 家畜等被害情報の収集 ・ 水産関係被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業施設被害報告 ・ 農作物等被害報告 ・ 家畜等被害報告 ・ 水産関係被害報告 3 広報広聴計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業施設被害情報の収集 ・ 農作物等被害情報の収集 ・ 家畜等被害情報の収集 	
団 体 指 導 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業共済に関する事。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関する事。 3 他課等に対する応援に関する事。【保健福祉企画室】 		
流 通 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関する事。 2 食料品取り扱い機関との連絡に関する事 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀の調達に係る東北農政局岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・ 農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・ 上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん 	
農 業 振 興	<ol style="list-style-type: none"> 1 経営構造対策事業、山村等 		<ol style="list-style-type: none"> 1 農作物気

課	<p>振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>2 他課等に対する応援に関すること。【商工企画室】</p>		象災害の取りまとめに関すること。
農業普及技術課	<p>1 農作物の被害の技術対策に関すること。</p> <p>2 農業気象に関すること。</p> <p>3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。</p> <p>5 病虫害防除に関すること。</p> <p>6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>7 他課等に対する応援に関すること。【市町村課】</p>	<p>1 県、市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 <p>2 農林水産物応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 	<p>1 低温・日照不足の異常気象による被害防止対策や関係機関や団体に対する適時適切な情報提供等に関すること。</p>
農村計画課	<p>1 他課等に対する応援に関すること。【経営支援課】</p>		
農村建設課	<p>1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。</p> <p>2 農地・農業用施設、農村生活環境施設並びに農地の保全に係る海岸保全施設及び地すべり防止施設の被害調査及び応急対策に関すること（県土整備部下水環境課の主管に属するものを除く。）。</p>	<p>1 活動体制計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害情報の収集 <p>2 情報の収集・伝達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害報告 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害報告 <p>3 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（農林水産省農村振興局所管海岸保全施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 <p>4 林野火災応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農業用ダムの流量調整に係る連絡調整 	
農産園芸課	<p>1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>4 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>5 他課等に対する応援に関すること。【流通課】</p>	<p>1 市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物の種苗及び蚕種に調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 	

畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 広域農業開発事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 畜産物の被害の応急対策に関すること。 3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関すること。 2 林産及び特用林産施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林産物（苗木を除く）の被害調査及び応急多雨策に関すること。 4 国有林関係被害の情報収集に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害報告 ・林産物（苗木を除く）被害報告 ・国有林関係被害報告 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請 3 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害情報の収集 ・林産物（苗木を除く）被害情報の収集 	
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防及び森林火災の発生状況の把握に関すること。 2 林業種苗の調達及びあっせんに関すること。 3 林業道（県有林を除く）及び苗畑施設の被害調査及び応急対策に関すること。 4 国有林及び県有林以外の森林の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること。【地域福祉課（災害ボランティアに関すること。）】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害報告 ・林産物（苗木）被害報告 ・国有林及び県有林以外の森林被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消火資機材の調達及びあっせん ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害情報の収集 ・林産物（苗木）被害情報の収集 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・国有林及び県有林以外の森林被害情報の収集 	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> 1 治山施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 県有林の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林地荒廃の被害調査及び応急対策に関すること。 4 林道施設の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害報告 ・県有林関係被害報告 ・林地荒廃被害報告 ・林道施設関係被害報告 2 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 ・林地荒廃被害情報の報告 ・林道施設被害情報の収集 	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 水産関係の応急対策に関すること。 2 食料品、生活必需品等の物資の調達及びあっせんに関すること 3 漁船による海上輸送に関すること。 4 漁業災害補償に関すること。 5 海上災害に係る連絡調整及び応急対策に関すること。 6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通確保・輸送計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁船による海上輸送の要請 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業共同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 3 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産物の調達及びあっせん要請 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 漁場施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 応急対策に係る漁港の利用に関すること。 4 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等被害情報の収集 ・水産庁所管海岸保全施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設被害報告 ・水産庁所管海岸保全施設被害報告 3 廃棄物処理・障害物除去計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港関係障害物の除去 4 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（水産庁所管海岸保全施設、漁港施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在港船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	
競馬改革推進室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。【市町村課】 		
県産米戦略室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。 		

備考 【 】内は「岩手県災害対策本部規程の運用について」（H24.3.30 付け総防第 1213 号県災害対策本部通知）により規定された応援先の室課名であること。

2 広域振興局農林水産担当部等

広域振興局 農政（林）部 林務部 水産部 農林振興センター 農村整備センター 水産振興センター 農村整備室 林務室 林務出張所 家畜保険衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター （中央の県域Gを除く。）	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
--	--	--	--

3 出先機関

病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学 中央農業改良普及センター（県域Gに限る。）	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
---	---	--	--

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種類	内容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画（様式1）	原則として、電子メール及び県情勢情報ネットワークによるものとし、防災行政無線（電話、FAX）等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間（災害発生初期）に、種類別に報告するもの	岩手県地域防災計画（様式F及び3、10～16）		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	同上		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
その他の	前記の報告以外で、必要	任意様式		市町村本部～地方

報告	な事項について報告するもの			支部～農林水産部 ～総合防災室
----	---------------	--	--	--------------------

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系は16頁)。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
庁舎等被害報告	様式 3	出先機関	農林水産 企画室	関係課に伝 達	農林水産 部長
農業施設被害報告	様式 12	市町村本部			
農作物等被害報告	様式 13	↓ 広域振興局 等(農林水 産担当部) 及び出先機 関			
家畜等関係被害報告	様式 14				
水産関係被害報告	様式 10				
農地農業用施設被害報告	様式 15	農林水産企 画室	農林水産企 画室に報告	農林水産部 長 県災害対策 本部長(総 合防災室)	
林業関係被害報告 (林産及び特用林産施 設、林産物、国有林)	様式 16				農村建設課
林業関係被害報告 (作業道(県有林除く)、 苗畑施設、緑資源機構※、 市町村有林、私有林)	様式 16				林業振興課
林業関係被害報告 (林道、治山施設、県有 林、林地荒廢)	様式 16				森林整備課
漁港施設等被害報告	様式 11		森林保全課		
			漁港漁村課		

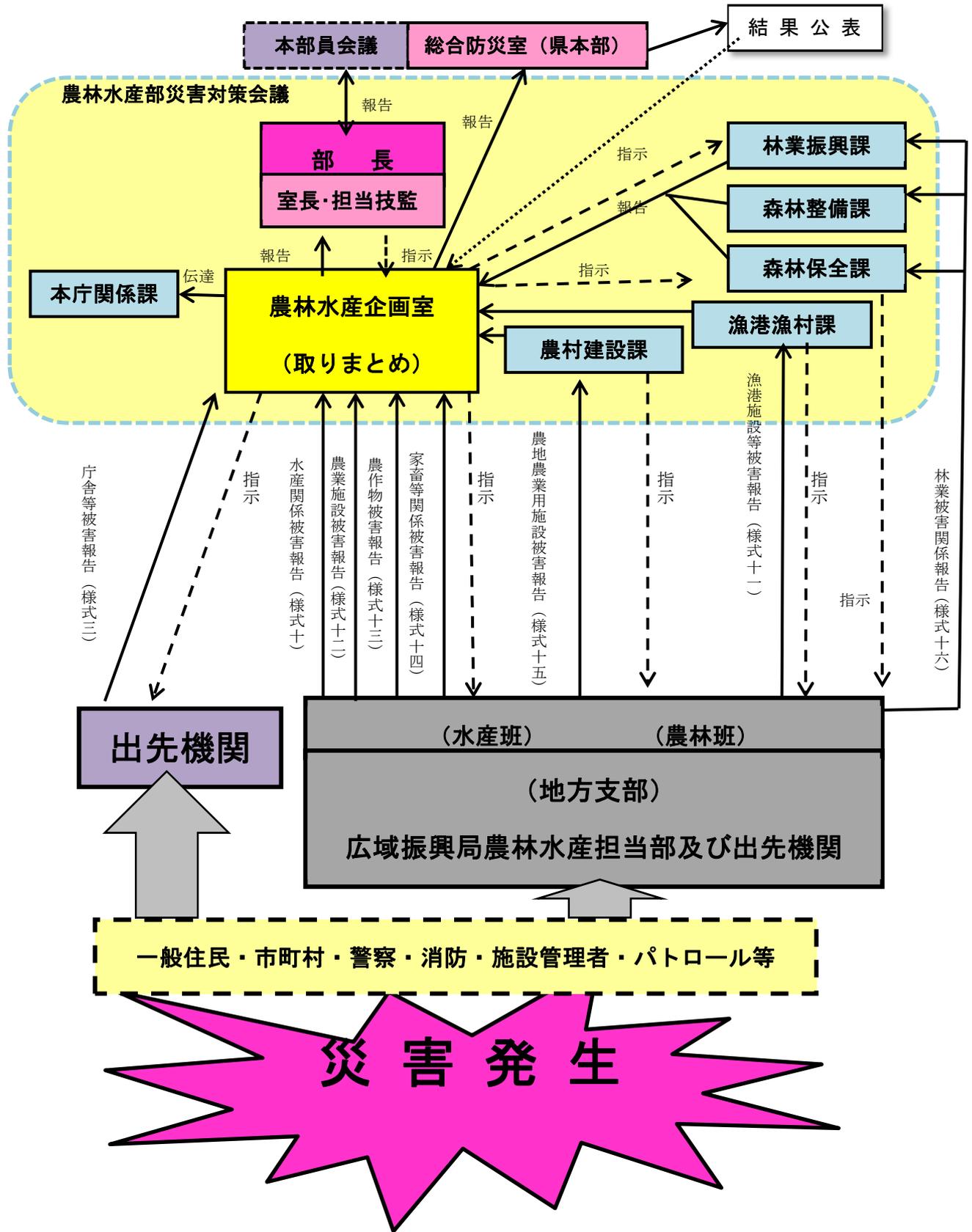
※ 現・森林農地整備センター

2 応急対策及び指示

- (1) 広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、農林水産部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部 長の指示確認)	別紙様式 1	広域振興局農林水 産担当部等及び出 先機関	農林水産企画室又は本 庁関係課(情報伝達と 同様)	農林水産部長

災害情報収集・報告区分別系統図



VII 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当者	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合 (警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度5強以上の地震	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

※1 本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。

※2 勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。

※3 拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課（V分掌事務参照）の長が対象となること。

Ⅷ その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
農林水産部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (広域振興局農林水産担当部等の長)	緊急初動要員の指名協議	毎年度当初	本庁及び広域振興局等
本庁各室課の長 広域振興局農林水産担当部等の長 出先機関の長	非常招集系統図(配備体制区分がわかるもの)作成	毎年度当初	本庁は農林水産企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常召集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画（災害応急対策計画）に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等気象災害防止対策本部（以下「本部」という。）を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議（以下「対策会議」という。）が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局及び広域振興局農林振興センター（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域（別表3に掲げる区域をいう。）ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長、農林部長又は広域振興局農林振興センター所長をもって充て、副地方支部長は、盛岡広域振興局農政部にあっては農業振興室長、その他の広域振興局等の農政部、農林部及び農林振興センターにあっては農作物等気象災害防止対策の事務を所掌する課長及び所管区域を所掌する農業改良普及センターの所長（花巻地方支部にあっては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあっては地方支部長と、副本部長にあっては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

この要綱は、平成26年3月24日から施行する。

この要綱は、平成27年7月2日から施行する。

別表 1（要綱第 3 関係）

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
県産米戦略室	県産米戦略監
中央農業改良普及センター	所長

別表 2（要綱第 6 関係）

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	6次産業化推進担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
県産米戦略室	主任主査
中央農業改良普及センター（県域普及グループ）	普及課長

別表3 (要綱第7関係)

広域振興局等	所管区域
盛岡広域振興局	盛岡市、八幡平市、滝沢市、岩手郡、紫波郡
県南広域振興局	奥州市、胆沢郡
花巻農林振興センター	花巻市、北上市、和賀郡
遠野農林振興センター	遠野市
一関農林振興センター	一関市、西磐井郡
沿岸広域振興局	釜石市、上閉伊郡
宮古農林振興センター	宮古市、下閉伊郡（普代村を除く。）
大船渡農林振興センター	大船渡市、陸前高田市、気仙郡
県北広域振興局	久慈市、下閉伊郡のうち普代村、九戸郡（軽米町及び九戸村を除く。）
二戸農林振興センター	二戸市、九戸郡のうち軽米町及び九戸村、二戸郡

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	水稻 麦	気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）	【当然加入制】 ・水稻 30a以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25a以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部） ・麦 30a以上（全組合）	【一筆・半相殺・全相殺方式】 共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合） 【水稻品質・麦災害収入共済方式】 基準生産金額の6～9割
	りんご ぶどう	【減収総合方式】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害 【特定危険方式】 特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜） 【災害収入共済方式】 減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少 【樹体共済】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害による樹体の枯死、流失、滅失、埋没及び損傷	・栽培面積10a以上（最低加入基準） 【特定危険方式】 ・20a以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに10a以上の栽培面積と栽培経験5年以上	【半相殺・全相殺・樹園地単位方式】 単位当補償金額×標準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める最低割合～最高補償割合の中から組合員が選択した割合） 【災害収入共済方式】 基準生産金額の最低割合（4～6割）～8割 【樹体共済】 共済価格の最低割合（4～6割）～8割
	大豆 そば ホップ 蚕繭（春・初秋・晩秋）	・気象災害（冷害・風水害・干害等） ・病虫害、鳥獣害、火災 ・気象災害（風水害、地震等） ・病虫害、鳥獣害、火災	・栽培面積5a以上（最低加入基準） 最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1箱以上）、初秋蚕繭（0.5箱以上）、晩秋蚕繭（0.5箱以上）	【一筆単位方式】 耕地ごとの基準収穫量の7割×単位当補償金額 【半相殺・全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の（8割：半相殺・9割：全相殺）×単位当補償金額 ----- 【全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の8割×単位当補償金額 ----- 【全相殺方式】 基準収穫量の8割×単位当補償金額（蚕期ごと（小蚕期ごと）に計算）

※岩手県で引受の対象としているものは次のとおり

- ・特定危険・半相殺方式及び特定危険・樹園地単位方式
- ・減収総合・半相殺方式及び減収総合・樹園地単位方式

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
家畜共済	牛 馬 豚	死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、 廃用（胎児・肉豚を除く）、 病気（胎児・肉豚を除く）、 傷害（胎児・肉豚を除く） 【事故除外】 特定の事故のみ限定	・乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛） ・肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛）（等の中に（人工授精等の後 240 日以上）胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）	・共済金額＝共済価額×付保割合（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8割の間で選択） ・高被害率農家（死産事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死産事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害	・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・1a 当たりの再建築価額が 3 万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く	・共済金額＝共済価額（施設時価額）×付保割合（付保割合：組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択） ※平成 27 年 2 月より補償拡充（①耐用年数の見直しと補償価格の引上げ、②農家選択による補償の追加、③撤去費用の追加） ※施設内農作物の共済金額＝施設の再建築価額（新築価額）×該当施設内農作物の価額算定率（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費）×付保割合

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	(火災共済) ・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害	・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に收容されている家具、家財 ・農作業場等に收容されている小農器具	(火災事故) ・共済期間＝掛金納入日の午後4時から1年間 ・共済金額＝損害額×（加入金額／再建築価額×加入割合）で算定される額 ※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度） ※加入金額8割未満：加入割合によって支払（風水害事故） ・損害額が再建築価額の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・共済金額＝（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価額）
農機共済	農機具	(火災共済) ・火災、落雷、獣害、盗難、衝突 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害 (更新共済) ・総合共済に加え ・将来の買替費用の積立	・所有または管理している未使用の状態取得した農機具	・共済金額＝損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額 ※損害額1万円以上の事故から対象 ※機械の腐食等の自然消耗等は対象外

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	【収獲高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる「集団契約」 【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付低事故てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震若しくは噴火又はこれらによる津波により操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限度内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業		【連合加入】 漁協ごと・漁業区分ごとに漁業者がまとめて加入(個別契約、漁業者集団契約) 【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)	

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
<p style="text-align: center;">特定養殖共済</p>	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき えぞいしかげ貝 ほや</p> <p>過去5年間の養殖単位当たり生産金額のうち最高と最低を除く3年平均</p> <p>×</p> <p>契約年の台数、または幹縄の延長数</p> <p>×</p> <p>一定割合(養殖種類ごとに一律)</p>	<p>【収穫高保険方式】</p> <p>生産金額が不作等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】</p> <p>漁協ごと・区域ごとに全員加入</p> <p>【連合加入】</p> <p>漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入</p> <p>【任意加入】</p> <p>1人からでも加入できる</p>	<p>【全事故比例てん補方式】</p> <p>減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】</p> <p>共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式</p> <p>【支払上限付低事故てん補方式】</p> <p>損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【地震等限定てん補方式】</p> <p>事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震若しくは噴火又はこれらによる津波により操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】</p> <p>通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法	
漁業施設共済	漁具	定置網	新調価格 × 引受現存率	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が受けた損害 (戦争、盗難等を 除く)を補償	【漁具】 定置網ごとに加入 【養殖施設】 水域ごと、養殖種類ごと、 個人ごとにすべての施設を 加入	【漁具】 【全損】 全部損害の場合に補償 【各網全損】 定置網を構成する網(垣網、囲い 網、箱網)ごとに全損の場合に補償 【各網分損】 定置網を構成する網(垣網、囲い 網、箱網)ごとに3割以上の損害の 場合に補償 【養殖施設】 【全損契約】 全部損害の場合に補償 【分損特約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定低てん補特約】 地震若しくは噴火又はこれらによ る津波が原因で損害が発生した場 合に補償 (地震等限定低てん補特約が付され ていない契約の2分の1を補償)
		はえ縄 いかだ 網いけす				
地域共済	休漁補償共済	漁船漁業 定置漁業	漁獲共済の 共済限度額 × 10% (漁獲共済 の共済限度 額×10%が 3千万円を 超える場合 は3千万円) または5% (漁獲共済 の共済限度 額×5%が1 千5百万円を 超える場合 は1千5百万 円)	漁船又は定置網 に生じた不慮の 事故によって、 当該漁業の操業 が10日以上制限 され、漁獲金額 が減少した場合 に補償。 また、漁船に生 じた不慮の事故 によって、代船 を借り上げて当 該漁業を操業し た場合に補償。	漁獲共済とのセット加入	【一般損害】 推定減収額の50% (3分の1の填補特約が付されてい る場合は推定減収額の3分の1) 【費用損害】 代船の借上げに最低限必要な経費
		ほたて貝 特定かき ほや の種苗	特定養殖共 済の共済限 度額 × 20% (特定養殖 共済に加入 できない者 は、当該地域 の養殖業の 事情を勘案 して組合が 決める額)	地震若しくは噴 火又はこれらに よる津波により 養殖施設に垂下 している種苗が 被災した場合に 補償(漁業施設 共済で全損共済 金が支払われる 場合に限る)	特定養殖共済及び漁業施設 共済とのセット加入	【一般損害】 種苗が被災したことによる損害額 の80% (補償限度額が上限)

- ※1 個別契約
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁業者集団契約
漁業者がグループで加入する方式

森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧造林事業			環境林整備事業（被害森林整備）		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			気象害等の被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			火災（山林火災）、気象災（風倒害、雪害等）、 病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が1,500万円以上で、かつ、要復旧面積が90ha以上の市町村 （激甚災害が暴風雨による場合） 森林被害額が4,500万円以上、かつ、要復旧面積が40ha以上の市町村			① 森林所有者の自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において、人工造林等を実施するため、事業主体が森林所有者等との協定を締結していること ② 1施行地の面積が0.1ha以上		
事業 内容	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし	作業路の開設	被害森林における被害木等の伐採・搬出及び人工造林等	倒伏木の引きこし	森林作業道の開設及び改良
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、任意団体等			都道府県、市町村、森林組合等、特定非営利活動法人等、森林経営計画策定者（ただし、事業主体が自ら所有する森林で実施する場合を除く。）		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 （査定係数 170）		
事業費 査定	あり			なし		

森林保険の制度と仕組み

引受対象	保険支払対象事故	加入方法（保険料）	補償方法
人工林 ・樹種、林齢、面積等に制限なし。ただし、竹林や天然林は対象外	・火災 ・気象災害 （風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害） ・噴火災 ※地震、病虫獣害は対象外	・契約者が、付保率等を選択し、保険金額を設定 ・保険料は、設定した保険金額に対して保険料率（保険金額 1,000 円につき年間 1.2 円～4.3 円）を乗じて算出	保険金は、契約保険金額の範囲内で損害に応じて支払 【保険金＝損害額×保険金額／保険価額】 [保険金支払責任を負わない場合] ・損害が保険契約者等の故意又は重大な過失によって生じたとき ・保険契約者等が損害が生じてから通知をせずに3年経過したとき ・損害が戦争、変乱又は地震によって生じたとき ・保険金の支払額が4,000円未満のとき [支払対象とならない損害] ・倒木起こし等復旧可能な損害 ・成林に支障のない程度の軽微な損害 ・造林技術上の欠陥又は病虫・獣害等によるものと認められる損害 ・活着不良等により通常生じる枯損による損害

農作物災害対策要綱

(昭和61年4月1日制定)
(平成8年3月25日一部改正)
(平成13年4月1日一部改正)
(平成17年9月6日一部改正)
(平成19年12月11日一部改正)
(平成28年12月2日一部改正)

(趣旨)

第1 この要綱は、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）による農作物の被害の未然防止並びに軽減、回復及び拡大防止のための対策を促進することにより、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2 この要綱において、「対策」とは、気象災害による農作物の被害が生じた場合に農業協同組合、農業者が組織する団体等が実施する次に掲げる対策をいう。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植又は代作
- (3) 生育回復対策
- (4) 前3号に掲げる対策以外の対策で、農業経営の維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握等)

第3 県は、別に定める農業被害報告要領に基づきとりまとめた農業被害状況を第4に規定する助成の措置を実施する基礎とする。

(助成措置の適用)

第4 県は、原則として、次の各号の全てに該当する場合は、対策に要する経費に対し、助成する措置を講ずるものとする。

- (1) 2以上の市町村における農作物の被害額が1億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が31パーセント以上（第2第2号に掲げる対策を実施する場合にあっては、71パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第2各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害による農作物の被害の未然防止又は軽減、回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 気象災害の発生（発生が予測される場合を含む。）の都度、別に定める補助金交付要綱等に基づき交付される県の補助金の見込額が、1市町村1作目当たり15万円以上であり、かつ、1市町村における県の補助金の見込額が30万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第5 第3に規定する被害の把握については農林水産企画室長が、第4に規定する助成の措置の適用については農産園芸課総括課長が所管する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成30年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稲	病害虫防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村	
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村	
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村	
						生育回復	4.9	92	30	川崎村	
		小計	8.8	1,267	421	7市町村					
	桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村					
	計		1,351.9	15,087	5,020	7市町村					
	9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病害虫防除	78.0	3,779	1,259	大東町	
	年度計						1,429.9	18,866	6,279		
S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病害虫防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村	
						生育回復	121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村	
						小計	673.6	41,991	13,909	14市町村	
					野菜	改植	10.0	2,961	986	滝沢村	
						生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村	
	桑	生育回復	1,547.1	5,828	1,902	大迫町等10市町村					
	計		2,462.9	56,225	18,589	25市町村					
	8月16日～18日	大雨洪水	3,670.5	678,589	水稲	病害虫防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村	
						病害虫防除	2.1	11	3	藤沢町	
					豆類	代作	2.8	596	198	藤沢町、川崎村	
		小計	4.9	607	201	2町村					
	8月29日	大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町	
生育回復						5.5	59	19	川崎村		
	小計	45.1	8,453	2,813	4市町村						
9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	果樹	病害虫防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村		
					代作	3.2	689	224	紫波町		
	計		142.2	5,044	1,664	4市町村					
	年度計						4,163.7	86,710	28,723		
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病害虫防除	2.8	29	9	安代町	
						改植	5.0	672	224	安代町	
						小計	7.8	701	233		
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	果樹	病害虫防除	31.0	1,126	374	二戸市	
						計	38.8	1,827	607	2市町	
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	水稲	病害虫防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村	
						病害虫防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村	
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町	
						小計	110.4	2,479	824	4市町村	
					野菜	病害虫防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村	
代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村							
	小計	149.0	12,683	4,165	6市町村						
桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市						
	計		747.3	20,372	6,722	11市町村					
夏期	低温・日照不足	95,026.0	30,127,805	別途対策事業を実施							
	年度計						786.1	22,199	7,329		
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村	
						小豆	播き直し	6.4	156	52	軽米町、九戸村
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村	
						果樹	生育回復	9.0	177	59	軽米町
						とうもろこし	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村
	計		233.3	15,323	5,088	6市町村					
7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稲	病害虫防除	110.2	2,622	873	紫波町		
					揚水機購入	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村		
	計		110.2	25,701	8,490	4市町村					
8月下旬～9月下旬	長雨	714.8	401,839	野菜	病害虫防除	185.5	4,923	1,623	岩手町等4市町村		
	年度計						529.0	45,947	15,201		
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町	
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町	
						小計	94.0	6,665	2,219	2町村	
	8月26日	降雹	810.9	277,266	キャベツ	病害虫防除	10.0	161	53	一戸町	
						計	104.0	6,826	2,272	2町村	
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	りんご	病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市	
						病害虫防除	2.0	23	7	紫波町	
					だいこん	代作	8.0	1,031	343	紫波町	
						小計	10.0	1,054	350		
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市	
						代作	2.0	258	85	花巻市	
						小計	4.0	275	90		
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村	
					ブロッコリー	病害虫防除	4.0	28	9	花巻市	
						代作	4.0	515	171	花巻市	
	小計	8.0	543	180							
レタス	代作	3.0	386	128	遠野市						
ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市						
わさび	植え直し	0.3	2,039	679	宮守村						
	計		32.2	5,186	1,722	4市町村					
	年度計						193.2	14,068	4,678		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村
					りんご	病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村
	計					842.7	35,330	11,706	15市町村	
	夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施					
			年度計				911.1	46,528	15,384	
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市
			年度計				30.0	534	178	
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施					
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町
						改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町
						計	36.4	5,114	1,704	2町
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町
					だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町
					キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町
					はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町
					さといも	改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市
					牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町
					計		87.8	34,062	11,313	5市町村
9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
			年度計				124.2	39,176	13,017	
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稲	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石鳥谷町
						小計	30.3	7,289	2,426	4市町村
	ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石鳥谷町、大迫町				
		ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石鳥谷町、大迫町				
		小計	60.1	61,649	20,452	3市町村				
			年度計				90.4	68,938	22,878	5市町村
							1,385.4	84,152	27,934	
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町
						雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町
						計	58.4	36,898	12,298	2町
	8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302	水稲	病害虫防除	1,719.8	17,048	5,679	2町
9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村	
					引き起こし	4.6	2,725	908	藤沢町、田野畑村	
			年度計				47.2	4,782	1,593	2町村
							1,825.4	58,728	19,570	
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村
			年度計				0.7	4,966	1,655	2町村
							0.7	4,966	1,655	
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
			年度計				1.5	1,898	632	
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町
						病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村
					りんご	代作	0.9	1,164	387	二戸市
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村
	おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町				
	西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	紫波町等4市町村				
			年度計				697.4	53,473	17,805	14市町村
	8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
			年度計				697.4	53,473	17,805	
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市
						播き直し	0.07	134	45	北上市
					ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市
					スイートコーン	代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市
					水稲	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、東山町
		計	317.27	5,411	1,802					
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町
					キャベツ	緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町
だいこん					緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村	
			年度計				225.18	11,947	3,981	
							542.45	17,358	5,783	
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稲	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村
						代作	10.9	7,928	2,637	牽石町等6市町村
						計	1,900.3	18,817	6,262	
			年度計				1,900.3	18,817	6,262	

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
年度計							0.0	0	0	
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稲	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村
					りんどう	生育回復	17.5	826	275	沢内村
	年度計							24.0	2,217	738
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市（江刺区）
						生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市（江刺区）
	年度計							70.0	3,670	1,223
H19	10月6～8日	大雨暴風	1,402.9	264,620	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	二戸市
						生育回復対策	29.3	269	89	二戸市
					おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	二戸市
						生育回復対策	2.5	103	34	二戸市
年度計							63.6	1,319	438	
9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区	
				大豆	代作	76.8	8,263	2,750	一関市、平泉町	
				飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958	2,984	一関市、平泉町	
年度計							106.0	20,822	6,934	
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町
	年度計					加工もも	生育回復対策	16.5	986	329
年度計							57.5	3,248	1,082	
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤散布	30.0	1,003	334	遠野市
						生育回復対策	30.0	456	152	遠野市
	年度計							60.0	1,459	486
10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市	
					緊急薬剤散布	29.79	669	223	江刺市	
年度計							30.069	2,163	721	
年度計							90.069	3,622	1,207	
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤散布	5.85	289	96	岩手町
						まき直し	6.00	2,038	679	岩手町
						改植	4.00	2,335	778	岩手町
	7月から8月	暑熱	630.9	498,018	大根	代作（大根）	4.47	1,014	337	岩手町
					まき直し	6.89	1,563	520	岩手町	
年度計							27.21	7,239	2,410	
9月21～22日	台風15号	2,174.0	417,985	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
				年度計						
H24	6月4日、6日	降雹	60.0	150,454	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	571	一関市
						生育回復対策	45.5	701	234	一関市
年度計							95.5	2,414	805	
H25	6月8日～8月9日	大雨・洪水	2,589.9	723,914	果菜・葉菜	播き直し等	25.4	8,274	2,758	盛岡市他3町
					花き	播き直し等	3.6	13,621	4,540	雫石町他2町
					菌茸	菌床の更新	90.1	1,174	391	雫石町
					畜産	代替粗飼料の購入	40.6	12,786	4,262	雫石町他2町
	年度計							159.8	35,855	11,952
年度計							159.8	35,855	14,765	
H27	10月1日～2日	大雨・暴風	227.3	123,923	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
年度計							0.0	0	0	
H28	8月30日～31日	台風10号	981.0	577,670	ほうれんそう	播き直し	1.1	968	317	洋野町
					畑わさび	播き直し	16.0	2,395	798	岩泉町
	年度計					畜産	代替粗飼料の購入	27.3	19,367	6,444
年度計							44.4	22,730	7,559	
9月17日～18日	台風18号	993.2	595,337	畜産	代替粗飼料の購入					
					年度計					
年度計							81.3	57,036	19,005	花巻市他6市町
年度計							81.3	57,036	19,005	

1億円以上の被害額となった災害：60災害（S61～H30） ※平成8、9、26、30年には1億円以上の被害額となった災害は発生していない。
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：43災害

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
元	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	37,430
	2月26日大雪災害		4,395		4,395						15,300				15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害									200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484							370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雪災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雪災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降雪災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害										11,250				11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498		2,630		800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379
11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300	40	3,175		4,515	135,515	
12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730	
2	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404				300		300	700,898
	5月25日の凍霜災害	80,209			80,209											80,209
	6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000
	6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145
	7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000
	7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073
	7月24日の降雪等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876
	7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000
	8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186	18,820					18,820	165,128
	8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000
	8月26日の降雪等災害	277,266	5,812		283,078											283,078
	9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000
	9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000
	9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095		109,003	4,212,976
	10月24日の波浪災害									3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	159,731
10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991	
11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	1,095,605	7,137,848	
11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994	
11月30日～12月1日にかけての台風28号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404					3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	146,343	
3	1月19日の波浪災害										2,600				2,600	2,600
	2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781			2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	10,835,927
	2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542
	3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
23	9月4日の台風12号による災害		100		100											100
	9月21日から22日にかけての台風15号による災害	429,985	19,527	1,278,000	1,727,512	318,994	2,300	663,962	985,256	10,281	175,630		15,315	12,700	213,926	2,926,694
	12月3日から4日にかけての強風・波浪災害	831	29,858		30,689						500				500	31,189
24	1月29日の波浪災害										3,950			391,010	394,960	394,960
	3月12日の大雪災害	24	25,039		25,063											25,063
	4月3日から4日の暴風・波浪災害	1,672	279,838		281,510	17,946	1,360	859	20,165	3,400	14,150	35,734	50,880	1,197	105,361	407,036
	5月3日から4日の大雨災害	477	30	132,000	132,507	206,060		70,650	276,710		1,102	37,937	234,480	4,900	278,419	687,636
	5月6日の降雹災害	4,329	131		4,460											4,460
	5月11日から12日の波浪災害										1,000				1,000	1,000
	5月28日の降雹災害	2,102			2,102											2,102
	6月4日の降雹災害	144,684		9,000	153,684											153,684
	6月6日の降雹災害	5,770			5,770											5,770
	6月7日の波浪災害										2,200				2,200	2,200
	6月20日の台風4号災害	4,932	340		5,272						600				600	5,872
	7月16日の大雨災害			15,000	15,000											15,000
	9月4日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	9月25日の降雹災害	15,272			15,272											15,272
	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808			102,808											102,808
	10月1日の台風17号災害	1,668	120	15,000	16,788	64,000		18	64,018		1,130				1,130	81,936
	11月26日から27日の強風災害	5,024	2,987		8,011											8,011
12月4日の大雨・降雹・波浪災害	788	50		838			40,000	40,000		1,000				1,000	41,838	
25	1月25日から26日の大雪災害		1,500		1,500											1,500
	3月2日の暴風雪災害		1,786		1,786											1,786
	3月10日の暴風雪災害		20,959		20,959											20,959
	4月6日から8日の暴風雨災害	53	18,444		18,497	17,900			17,900	10,420	17,730	8,100	77,802	93,880	207,932	244,329
	5月8日の低温被害	925			925											925
	6月7日の降雹被害	499			499											499
	6月14日の少雨高温被害	28,924			28,924											28,924
	6月25日の降雹災害	20,286			20,286											20,286
	7月15日の大雨災害	25,170		42,000	67,170											67,170
	7月26日から28日の大雨・洪水災害	108,705	6,480	1,969,000	2,084,185	297,118	2,126	486,617	785,861		150			3,500	3,650	2,873,696
	8月9日の大雨洪水災害	597,212	12,642	5,298,000	5,907,854	763,328	2,600	2,273,533	3,039,461							8,947,315
	9月16日の台風18号災害	337,329	119,808	2,785,000	3,242,137	184,350		253,916	438,266	40,100	2,130	100	17,450	100	59,880	3,740,283
	10月16日の台風26号災害	309,785	71,840	48,000	429,625	12,821			12,821	15,940	506,727	7,334	125,312	826,630	1,481,943	1,924,389
10月26日から27日の大雨災害													350	350	350	
11月7日の強風災害	4,326	200		4,526											4,526	
12月15日の強風災害		100		100											100	
12月20日から21日の暴風雪災害										19,370	1,570		500	21,440	21,440	
26	2月9日の大雪・波浪災害	3,181	166,223		169,404											169,404
	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	5,316	1,425,105		1,430,421	29,743		8,592	38,335	840	2,310	6,201	265,051	180,300	454,702	1,923,458
	3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害	442	101,037		101,479			5,564	5,564		10,981				10,981	118,024
	3月30日の暴風雪災害		120		120						600	310	1,490		2,400	2,520

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
26	4月3日チリ地震により発生した津波災害												7,000		7,000	7,000
	4月20日の降雹災害	10,379			10,379											10,379
	5月29日の降雹災害	11,713			11,713											11,713
	6月16日の降雹災害	7,158			7,158											7,158
	7月11日の台風8号大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月8日の大雨災害	52			52											52
	8月10日から11日の台風11号大雨災害	48,153	2,670	13,000	63,823	1,200			1,200		1,501				1,501	66,524
	8月15日の大雨災害	137		20,000	20,137			23,000	23,000							43,137
	8月22日の大雨・降雹災害	404	120	1,000	1,524											1,524
	9月12日の降雹災害	18,230	4,000		22,230											22,230
	10月6日の台風18号災害										1,000	50	1,705		2,755	2,755
	10月14日の台風19号災害	84,406	3,688	5,000	93,094	4,000		4,000	8,000		300	398	13,754		14,452	115,546
	10月17日の強風災害	48,569	1,347		49,916											49,916
	11月2日から3日の強風災害	6,385	20		6,405											6,405
12月3日の降雪災害		25,993		25,993											25,993	
12月17日の暴風雪災害		2,620		2,620						2,046				2,046	4,666	
27	1月7日の暴風雪災害		3,372		3,372										1,000	4,372
	2月13日の暴風雪災害	574	19,550		20,124											20,124
	3月9日から11日の大雨暴風雪災害	22	9,436	23,000	32,458	7,300			7,300		1,686			1,600	3,286	43,044
	5月13日の地震災害		500	9,000	9,500	1,400			1,400							10,900
	5月14日、17日の強風災害		342		342											342
	6月4日の強風災害	807			807											807
	6月6日の降雹災害	18,672			18,672											18,672
	6月14日の降雹災害	43,899			43,899											43,899
	6月16日の大雨・降雹災害	43,717		10,000	53,717											53,717
	6月20日の落雷災害			10,000	10,000											10,000
	6月27日から28日の大雨・波浪災害			2,000	2,000	31,500			31,500				46,300		46,300	79,800
	7月25日の大雨災害	2,889		24,000	26,889											26,889
	9月10日から11日の大雨災害	12,276	300	314,000	326,576	68,650		106,000	174,650	268	1,000				1,268	502,494
	9月18日の大雨災害	95			95											95
	4月～9月の暑熱災害	48,050			48,050											48,050
	10月1日から2日の大雨災害	123,923	4,024		127,947											127,947
	10月8日の台風23号災害	36,446	7,157		43,603					28,161	1,650	1,800	54,462	786,430	872,503	916,106
11月27日の強風災害		160		160											160	
11月の暑熱災害	690			690											690	
28	1月18日から21日の暴風雪・波浪災害	2,847	124,305		127,152			66,118	66,118	22,915	41,965	34,192	579,562	5,538,647	6,217,281	6,410,551
	2月14日の強風災害	129	2,018		2,147											2,147
	4月17日の強風災害	41	108,245		108,286	342			342		4,300				4,300	112,928
	5月4日から5日及び8日の強風災害		7,874		7,874											7,874
	6月20日の落雷・波浪災害、竜巻災害	1	10		11							12			12	23
	7月3日の強風災害	453			453											453
	8月2日から3日の大雨災害	391		16,000	16,391											16,391
	8月9日の台風5号災害									100	2,250	1,100	30,890	18,040	52,380	52,380

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計	
28	8月17日の台風第7号災害	6,071	560	161,000	167,631	32,500			32,500		100			34,415	34,515	234,646	
	8月19日の大雨災害			2,000	2,000											2,000	
	8月21日の台風第11号及び8月22日から23日の台風第9号災害	13,111	33,548	40,000	86,659	1,600			1,600					29,950	29,950	118,209	
	8月26日の大雨災害			79,000	79,000	4,000			4,000							83,000	
	8月30日の台風第10号災害	651,803	4,968,491	8,630,000	14,250,294	9,265,880	211,933	1,988,107	11,465,920	2,172,008	1,148,270	82,376	426,733	4,009,855	7,839,242	33,555,456	
	9月8日から9日の大雨災害			12,000	12,000											12,000	
	10月20日から21日の強風災害	12,542	1,151		13,693											13,693	
	11月22日の津波災害										4,775	321			5,096	5,096	
	11月25日の低温災害	1,609			1,609											1,609	
	12月2日の強風災害		2,775		2,775					18,260	2,657				20,917	23,692	
	29	2月17日から18日の強風災害	451	4,363		4,814	1,000			1,000		690				690	6,504
		4月12日から13日の強風災害		8,161		8,161											8,161
5月8日の強風災害			9,970		9,970											9,970	
6月16日の降雹災害災害		526			526											526	
7月13日の大雨災害				2,000	2,000											2,000	
7月17日の大雨災害				6,000	6,000											6,000	
7月22日から23日の大雨災害		12,976		253,000	265,976	32,575			32,575							298,551	
8月24日から25日の大雨災害		24,931		114,000	138,931	26,100			26,100							165,031	
9月11日から12日の大雨災害				69,000	69,000	5,263			5,263							74,263	
9月17日から18日の台風第18号災害		595,501	37,995	28,000	661,496	87,880	450	54,000	142,330	4,313	37,689	60	1,200	31,670	74,932	878,758	
10月22日から23日の台風第21号災害		47,707	118,591	71,000	237,298	198,833			198,833	300	273,048	783	25,339	402,390	701,860	1,137,991	
10月30日の強風災害		60,522.0	1,064		61,586											61,586	
11月11日の強風災害		1,139		1,139											1,139		
12月25日から26日の強風災害	279.0	7,039		7,318											7,318		